

一般財団法人 地図情報センター  
10周年(財団法人設立41周年)のあゆみ



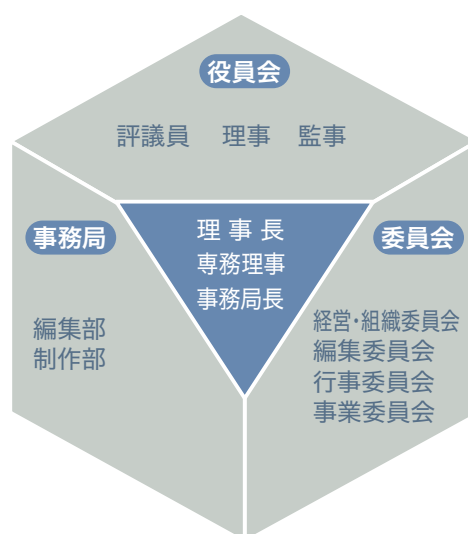


# 一般財団法人 地図情報センター 10周年(財団法人設立41周年)のあゆみ

## 目次

一般財団法人地図情報センター 10周年	
財団法人設立41周年	2
理事長からのごあいさつ	3
歴代理事長(任意・財団法人・一般財団法人)	4
設立から現在までを振り返る	5
地図情報センターのあゆみ	8
役員在任期間	41
地図学博物館構想	44
地図情報(1~100号 B5判)	45
地図情報 総目次	52
地域情報ニュース	84

## 地図情報センターの組織



財団法人地図情報センターは、内外の地図資料および地図情報を収集し、それらの情報を広く一般に提供することを主な目的として1981年5月6日文部省の認可を受け設立され、2021年5月には設立40周年に至りました。

また、公益法人制度改革に伴い、2012年4月1日より一般財団法人地図情報センターとなり、2022年4月1日に一般財団法人10周年を迎えることができました。

当財団法人は、人類の発展の中で永年にわたって作られ表現されてきた内外の地図及び地図資料を歴史の堆積を含めて広く収集し、調査研究、整備保存し、その成果を普及しようとするものです。

急激な国際化・電子化において、わが国の立場を深く認識し、資源、人口、気象、産業動態など多方面にわたる地図の持つ意味をふまえて、わが国の地図文化の向上と地図・地理に関する学術や教育の振興に寄与したいと考えています。

当財団は、機関誌「地図情報」、データニュース「地域情報ニュース」の発行、見学会（巡検）・講演会・セミナーの開催、ホームページの公開、出版物の発行などを通して地図・地理知識の普及・啓発を行なっています。

- ① 地図情報の普及・啓発・教育の実施
- ② 地図情報の普及等に係るコンテンツの制作・運営の実施
- ③ 地図情報に関する調査・研究
- ④ 地図情報に関する学術図書、定期刊行物等の刊行
- ⑤ 内外学術団体、教育団体等との交流
- ⑥ 研究会等各種事業の実施
- ⑦ 表彰の実施
- ⑧ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

## 理事長からのごあいさつ



滝沢由美子(二代理事長)  
平成28年～現在

### 地図情報センターの歩みをふりかえって

地図情報センターの経て来た40年余の歴史を紐解くと、多くの方々の熱い思いと活動によって当センターが支えられ、育てられて来たことがわかります。

任意団体としての設立当初、今日では当たり前になっている地図がもつ情報性に着目した「地図情報」という概念が新しく打ち出されたことは素晴らしいことで、より優れた地図の研究、地図情報資料の蒐集、地図情報の提供などが設立の目的とされています。その後、やはり多くの方々のご努力により1981年に財団法人として発足し今日に至っています。その間、私もかかわってきた「地図学博物館」設立に向けての活動なども行われましたが、財政状況が悪化し、「解散」の危機的状況に陥りました。しかし帝国書院のご支援により存続できたことは、地図情報センターにとっては勿論のこと、客観的にみて「解散」による社会的損失が生じなかったことでもあり、本当に有り難いことであったと思います。

そして10年前、新たに一般財団法人として発足し、帝国書院のご協力と事務局の努力により、8年前からは財政状況は好転し、種々の活動が続けられて来ています。特筆すべきは一般財団法人に移行した折に、主な目的を「地図情報の普及・啓発・教育の実施」とし、教育が加えられた点です。このことは、数十年前に高校で「地理」が必修からはずれ、徐々に地理を専攻する教員が減少し、小・中・高を通して的確な地図教育も十分行われない状況が長年続いていたことを考えると、とても意義のあることであったと思っています。

今後、益々多様化する社会において地図の活用もそれに応じて様々な発展をみせると考えますが、地図情報センターが蓄積してきた成果を継承し目的に沿って発展していくことを願っています。

## 歴代理事長(任意・財団法人・一般財団法人)



田中 薫(任意団体理事長)  
昭和49年～昭和56年



渡辺 光(財団法人初代理事長)  
昭和56年～昭和59年



和達清夫(二代理事長)  
昭和60年～平成7年



梅棹忠夫(三代理事長)  
平成8年～平成14年



下中直也(四代理事長)  
平成14年～平成18年



正井泰夫(五代理事長)  
平成20年～平成24年



中村和郎(一般財団法人初代理事長)  
平成24年～平成28年

## 任意団体から財団法人設立まで

国際社会に乗り出した出版各社はフランクフルトで開催の「ブックフェア」に人員を派遣して書籍を出品していた。その中で、講談社(野間省一社長)、平凡社(下中邦彦社長)、東京印書館(下中直也社長)が共同でより優れた地図研究を始めるに際しての課題が検討された。

一方、EXPO'70大阪万国博覧会(昭和45年)が決まる中、印刷時報5月号の対談で、“日本によい地図がない”と指摘されている記事を見て、九段の武道館をモデルにプレゼンテーションをした。これが万国博協会のディレクターであった勝見勝氏の眼にとまり、その後、公式ガイドマップを3社共同で研究開発することになった。さらに、1973(昭和48)年には札幌冬季オリンピックの公式ガイドマップ、1975年には沖縄国際海洋博覧会公式ガイドマップを制作している。

このような経緯から、1981年(昭和49年)11月、講談社、平凡社、東京印書館により任意団体「国際地図情報センター」(理事長 田中薫 神戸大学教授)が発足した。

当時としては“地図情報”という言葉をはっきり打ち出した新しい試みであった。任意団体とはいえ公益法人化を目指すことを前提としていたので、当時は多くの方々にその意図を伝えることが最大の仕事の一つであった。機関誌「地図情報」を発刊し、知的生産基地として「地図の博物館」について論じ、地図プロパーの多くの方々と交流できたことは幸いだった。

また、近藤信行、勝見勝、江藤淳、小松左京、司馬遼太郎、木内信蔵、高崎正義、堤清二、原弘、西川治、野村正七、式正英、松本清張、渡辺光、西村蹊二、金沢敬、清水靖夫、山縣有光等の各氏のご協力を得た。

さらに、財団法人化に際し、渡辺光先生を中心に下中直也、金沢敬、蛭田利之、師橋辰夫、加藤芳夫、

久保総子、森田喬、小倉利行各氏のほか、多くの協力を得て進めた。

財団化においては、地図の情報性、資料性、学術性、国際性を中心とすることから、文部省の学術国際局情報図書課に折衝し、曲折を経て昭和56年、文部省の所管・認可となった。

## 財団の20年

当財団法人の主目的は、各種地図・地図情報の収集整備、地図情報に関する調査研究、地図情報に関する学術図書・定期刊行物等の刊行等であり、これについては様々な活動を行い機関誌「地図情報」も引続いて発刊している。

事業計画には、地図及び地理に関する学術研究振興、並びに地図情報データベースによる産業界への貢献等、当財団法人の目的事業を遂行するため「地図文化博物館(仮称)」設立準備を盛り込んでいた。

1988年、日本学術会議において「国立地図学博物館(仮称)」設立についての勧告が採択され、1989年には犬山市(当時松山邦夫市長)の熱心な誘致もあり設置構想の策定を行ったが、「国立」であることから様々なハードルがあり、具体化せずに現在に至っている。

一方、地図をとりまく情報化・電子化の流れの中で当財団法人では1990年より平凡社地図出版の協力によりデータベース「地域情報ニュース(AIN)」を提供するとともに、2000年6月より、わが国の財団の中ではかなり初期からホームページを立ち上げた。

財団法人設立からの20年間は目的の遂行のため、種々努力した時代であった。そして設立時の地図に関する概念を深めて、視覚情報としての「地図情報」の認識を唱え、それらの技術を踏まえ、地図資料を含む地図情報と、データベース構築等によって技術、経済性、利便性を超えて学術研究に貢献するところに意義があると考えた活動であった。

(「地図情報」創立10周年、20周年記念号の久田龍二氏原稿を編集した)

背景はEXPO'70大阪万国博覧会会場マップの手描き原図。トレーシングペーパーに描かれたもの。線は墨。(地図情報センター蔵)

## 解散危機

2006年（平成18年）5月6日に当財団法人は創立25周年を迎えた。財団法人設立時から時代も大きく変わり、1990年代の末頃には設立3社からの援助も厳しくなり、また、低位金利時代の到来による基本財産の運用収入減少などにより経営環境は悪化した。

収益事業収入もほとんど見込まれない状況下、財団法人の運営は一段と苦境に陥り、平成18年1月には「解散」の方針が固まった。

平成18年9月、文部科学省に「解散許可申請」を提出し、平成19年1月には「清算人」選出、同年3月「解散許可」を得るスケジュールにあった。

## 帝国書院からの支援と新体制

平成18年12月17日に帝国書院（守屋美佐雄社長）から「財団法人継続のお手伝いを行う」旨の申し出をいただいた。これには、財団法人継続を願う西川治氏をはじめとする多くの関係者のお力添えがあったことを後になって伺った。

急遽、平成19年1月31日に臨時理事会、評議員会で「解散方針」の停止が諮られた。文部科学省に出向き事情説明したところ、担当者から「朗報」との言葉があった事を思い出す。

その後、帝国書院の力添えにより法人会員増強等の支援体制が図られた。帝国書院の法人会費も特別会費にして頂いた。設立時より、帝国書院は法人会員、評議員として法人運営に参加していたが、これを機に専務理事に斎藤隆氏（帝国書院元社長）、理事に杉山博幸氏（帝国書院役員）が就任した。

理事長には正井泰夫氏（立正大学名誉教授）が、事務局長には本田大作氏（日本特殊地図編纂所）が就任し、経営改革を推進することとなった。

帝国書院は多額の寄付金を準備していたが、税務当局指導により実現できず、その一部について「貸付金」として低利融資の支援となった。同社の支援は、事務局長人件費のほか、収益事業受託など多岐にわたる。

## 公益法人制度改革

本田事務局長は公益事業の他、収益事業や事務管理面を含めた財団法人運営改革に注力し、様々な調整を行い財団法人としてあるべき体制を確立した。

平成20年12月に「公益法人制度改革」が施行され、すべての財団法人は5年間のうちに新制度法人への転換が義務化され、「公益財団法人」か「一般財団法人」の選択をしなくてはならなくなった。

## 一般財団法人を選択

公益法人制度改革で「一般型」か「公益型」の選択に際し、地図情報センターは設立目的や活動内容から「公益型」も可能であったが、理事会、並びに「移行委員会」で検討した結果、公益事業収入は会費以外に収益確保の基盤がなく、経営安定化のためには収益事業収入による収益増加が必須として「一般型」で発足するべきとの結論に達した。このような経緯から、当財団法人は収益事業を主体として、その収益で公益事業の維持と法人運営を図る事から「一般財団法人」を選択することになった。

一般財団法人移行申請を提出するに際して「定款（旧寄附行為）」を見直し、「地図情報の普及・啓発」に「教育」を追加して「地図情報の普及・啓発・教育の実施」とした。これは「地図情報の普及・啓発のベースには教育がある」ことを認識し、実践する決意を示したものである。

## 一般財団法人への移行

本田事務局長は、帝国書院支援による財団法人体制の確立と、「公益法人制度改革」の方針や「最初の評議員」選定、新法人の役員確定等の準備が整った事を機に退任し、新法人の運営を展望して平成23年7月20日付で帝国書院より事務局長に進藤 誠氏が就任した。進藤事務局長（平成22年7月～事務局次長）は「公益法人制度改革」での当局（内閣府）との折衝、「移行申請」並びに、その後の法人運営を行うことになった。

平成24年4月1日、内閣府の移行認可をもって「一般財団法人地図情報センター」とし新たなスタートを切った。理事長には中村和郎氏（駒澤大学名誉教授）が就任し、評議員10名、理事10名、監事3名と従前の約半数の体制であった。進藤事務局長は村野事務局次長と共に業績向上を図り、堅実な運営管理と経営改革に邁進する事になった。

認可条件の「公益目的支出計画」完了（平成27年3月31日）は、当局との折衝や事務負荷が解消するだけでなく、公的面や対外的にも当財団法人が信頼を得る重要事項であり、内閣府担当者より申請通り3年の完了事例は少ないとしての賛辞があった。

## 地図情報センターの経営改革

帝国書院支援（平成19年）以降も赤字体質は変わらなかった。各期赤字累積により平成25年度までの繰越損失は大きく、運転資金にも余裕がなく、苦境を余儀なくされた。財団法人は公益事業遂行が求められるが、公益事業は原則赤字となるため収益事業を



中心に財務内容改善が急務であった。

方策としては、事業収入増加（公益部門+収益部門）及び、事業支出（公益部門+収益部門）と管理支出の削減による収益増強が基本となるが、公益部門の収入増加は困難で、収益部門の収益増加が喫緊の課題となり、また、法人全体の経費削減も必要であった。

公益事業収入：会費の改定を行ったが、消費税や諸経費増加分をカバーする程度であり、金額的に収益上効果は限定的であった。

収益事業収入：帝国書院に委託事業の増加や出版物購入などを依頼し、収入が増加した。

経費削減：事業支出の印刷諸経費、並びに、管理支出の賃借料の削減などを実施した。

収益事業収入の増加と経費削減効果で、平成26年度収支は黒字に転換した。その後、平成27年度～29年は一段と収益が向上し、経営改革は前進した。

経営改革の厳しい時期、一般財団法人最初の理事長であった中村和郎氏が退任し、後任に滝沢由美子氏（元帝京大学教授、日本学術会議委員）が平成28年6月16日に就任した。引続き当財団法人の発展に努めることになった。

## 再起動の時期

平成29年以降は印刷物制作は諸般の事情で中止となり、業績の悪化が懸念されたが、帝国書院の新規事業等の支援、並びに経費削減努力もあり、結果として、平成26年度の黒字化から令和3年度まで8期連続黒字計上するに至った。これに伴い、平成30年には繰越損失を解消し、その後は繰越利益計上を維持している。

新規収益事業（新刊本発行等）

・「世界の地図情報（国と国旗ハンドブック）」

平成25年4月、世界198か国・地域の国旗、地誌データ、世界遺産を集約した「世界の地図情報」を帝国書院が購入し教育現場で活用されていた。その後、誌名を「国と国旗ハンドブック」に変更し、令和3年2月からは帝国書院「地理統計-国旗解説・国別資料付き-」に収録されて収益に寄与している。

・国際理解地図帳『DOOR』

平成30年2月、国際理解地図帳『DOOR』刊行（発行：当財団、発売：帝国書院）

208の国と地域をイラスト中心で紹介する地図帳で、国旗や主要データを掲載し解説する画期的な書物で、子供～大人まで楽しめる内容である。

5分冊（1巻：アジア、2巻：ヨーロッパ、3巻：アフリカ、4巻：北アメリカ、5巻：南アメリカ・オセアニア）。上製本。

『DOOR』は日本地図学会「教育普及賞」を受賞した。

・『地理トレ』

令和4年4月、『地理トレ』を刊行（発行：当財団、発売：帝国書院）。クイズブームもあり、この気運に乗り「地理・地図」知識を多くの人々に知ってもらおう趣旨で企画発行し、発行後すぐ「Amazon 雑学部門」第1位となった。

## 地図情報センターの今後の展開

公益事業

機関誌「地図情報」や「地域情報ニュース」の刊行、巡検・セミナーの再開、地図展等への表彰・後援は引き続き着実に行う。特に「教育」関係には積極的に関与し、地図の普及啓発に努力する一方、もう一段業績が向上し、経営基盤が固まれば「地図・地理教育」充実の企画を独自で実施したい。

令和3年7月に公共機関である「神戸市立博物館」（伊能忠敬 特別展）に続き、令和4年7月に「神奈川県立歴史博物館」（地図最前線 特別展）の後援依頼があり、「地図情報センター」の知名度が向上した。

今後も当財団法人の事業目的に合致した展示や表彰については後援・協力をやりたい。

収益事業

当財団法人の発展には収益事業の充実は必要条件であり、新規事業にも注力し、内部留保を増やし経営基盤が確立した時期には独自収益事業を実施したい。

## 記念の会を迎えて

ここに「記念の会」を開催できますことは、当財団法人運営に関わっていただいた多くの評議員、理事、監事、顧問、委員の方々のご協力によるもので、心より感謝いたします。

そして、帝国書院、東京印書館、平凡社を始めとした法人会員、AIN（地域情報ニュース）会員、個人研究会員、関係機関や協力団体・企業の皆様の永年に亘るご支援とご協力に厚く御礼申し上げます。

現在、当財団法人は「<sup>リポート</sup>再起動」の時期であります。これからの変革の時代を迎えるに当り、財政面強化による経営基盤の確立を図るとともに、独自企画の実施などで、飛躍したいと思っております。

今後ともご支援ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

# 地図情報センターのあゆみ(任意団体から一般財団法人まで) 敬称略

## 昭和49(1974)年

○11月28日

講談社、平凡社、東京印書館の3社により、任意団体「国際地図情報センター」が発足する。事務所は日本弘道会2階。理事長：田中薫、常務理事：下中直也、理事：井深大、植村甲午郎、梅棹忠夫、織田武雄、木内信蔵、下中邦彦、東畑精一、野間省一、監事：服部敏幸。  
“地図”、“情報センター”、“国際性”の要素から国際地図情報センター International Cartographic Information Center (ICIC) とする。

## 昭和50(1975)年

○1月25日

機関誌「地図情報」No.1発行。地図情報のロゴデザインは原弘。沖縄国際海洋博覧会 EXPO'75の公式ガイドマップを研究作成する。

○3月15日

機関誌「地図情報」No.2、No.3誌上座談会で、梅棹忠夫、小松左京、杉浦康平、下中邦彦、下中直也、栃折多喜郎各氏が出席。「地図博物館」の構想が語られる。あわせて、梅棹理事の意向で法人化の方向の提案があり、文部省学術国際局へ打診する。

## 昭和51(1976)年

○8月2日

第8回国際地図学会議(ICC)(第5回ICAモスクワ開催)に参加出席。田中薫理事長、木内信蔵理事、下中直也理事他。ドイツ、ノルウェー地図事情も視察。

## 昭和53(1978)年

第9回国際地図学会議(ICC)(アメリカ・ワシントンDCメリーランド大学で開催)に参加。7月19日より20日間渡辺光氏が団長。他カナダ、メキシコ地図事情調査。

○11月27日

渡辺光氏と国際地図情報センターの基本と財団化の方向を検討。文部省学術国際情報図書館課と打診を始める。

○12月1日

ICICニュースレター「Cartopia」No.1発行(1979年3月20日 No.2発行)

## 昭和54(1979)年

○4月3日

渡辺光氏を中心に財団法人化推進委員会結成。

7月2日より10月29日ま

で11回の推進会議を開催する。趣意書、事業内容の検討、文部省との具体的折衝始まる。

## 昭和55(1980)年

□8月23日

第15回国際地理学連合会(IGU)総会及び第24回国際地理学会議(IGC)東京大会開催。第10回国際地図学協会(ICA)総会・第10回国際地図学会議東京大会開催。於経団連会館。

「地図展'80」サンシャインビル60で開催。郵政省記念切手発行。

○11月6日

財団法人地図情報センター設立発起人会開催(於講談社貴賓室)

発起人 井深大、梅棹忠夫、織田武雄、木内信蔵、下中邦彦、下中直也、田中薫、東畑精一、服部敏幸、蛭田利之、諸橋辰夫、渡辺光、以上12名。

○12月20日

CARTOGRAPHY IN JAPAN - PAST AND PRESENT - by AKIRA WATANABE 1980 英文 B5判 40頁発行



昭和56 (1981) 年

○2月25日

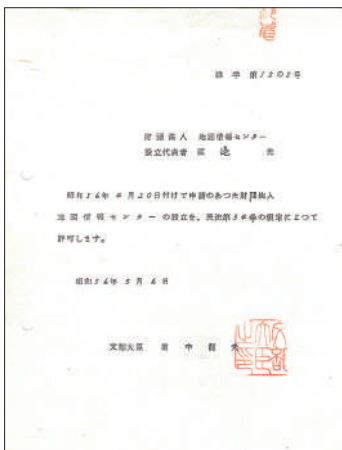
機関誌「地図情報」  
No.21発行。任意団体  
時の最終発行となる。



昭和56 (1981) 年度 (以下、会計年度)

○5月6日

文部大臣より「地図情報センター」の名称で、民法  
34条の財団法人の認可を受ける。基本財産6000万円。  
文部省学術国際局情報図書館課。理事長に渡辺光  
就任。事務所を東京都千代田区西神田 日本弘道会館  
におく。



財団設立認可証と建て替  
え前の日本弘道会館ビル。  
ある日、職員が出社する  
と(ロケで) 警察署になっ  
ていたという。

○5月20日

法人設立登記完了。

○7月7日

第1回理事会・評議員会 於学士会館  
財団法人地図情報センター発会式開催 於学士会館

○8月21日

行事委員会発足

○9月21~30日

財団法人地図情報センター発足記念地図展開催。「都  
市地図展-地図から見た世界の街の表情」 於三省堂  
本店一階展示場

○12月22日

機関誌「地図情報」  
第1号(創刊号)発行。

○12月31日~57年1  
月3日

地図展覧会「地図の  
初夢」開催 於都ホ  
テル東京展示場

○11月~57年1月

室内地図展示「年賀  
状及び、クリスマスカ  
ードに用いられた世界  
の地図」開催

○3月15日

理事会・評議員会 於学士会館



昭和57 (1982) 年度

○2~4月

室内地図展示「日本地図学史に於ける代表的地図」

◇4月

1982年度から高校の学習指導要領が改訂実施され、  
社会科は地歴科で「世界史」、公民科で「現代社会」  
が必修科目となり、地理の履修者の減少が始まる。

○6月16日

理事会・評議員会 於学士会館

○8月13日

編集委員会発足

○9月19日

川上喜代四理事逝去

○9月20日

任意団体時の田中薫  
理事長逝去

○秋季

室内地図展示「フラ  
ンスの地形図」開催  
カシニの地形図他。

○11月20日

『図の記号学』刊行。

発売元 平凡社

Jaques Bertin著  
森田喬訳 A5判277頁



○1月17日

資料委員会

○3月25日

理事会・評議員会 於学士会館

### 昭和58 (1983) 年度

○4月6日

「地籍図」の展示会と講演会開催。日本地理学会地籍図研究グループと共催 於国立歴史民俗博物館

○5月6日

東畑精一前参与逝去。

○6月27日

理事会・評議員会 於学士会館

○春季

春季室内地図展「ドイツ」開催

○8月5日

日本地理学会地籍図研究グループ(委員長西川治)主催の公開研究集会と特別閲覧を後援 於名古屋市立博物館。

○8月15日

日本弘道会館建て替えに伴い、事務所をF&Fロイヤルビル(千代田区淡路町)へ引越・移転。

○8月24日

臨時理事会・評議員会 於ロイヤルビルEIC会議室。日本弘道会館建て替えに伴う事務所移転による寄附行為の一部改訂。

○8月29日

第10回国際歴史地図学史会議参加 於アイルランド・ダブリン市

○秋季

秋季室内地図展「アメリカ合衆国の地形図」開催

○9月26日

文部省に事務所移転に伴う寄附行為の一部変更届提出。(法務局届出済)

○12月1日

原田英一日本地図研究所長逝去

見学会「永青文庫所蔵古地図特別鑑賞会」実施。

○12月15日

東京都港湾局へ東京湾埋立13号地に「地図博物館」設立の要望書を提出。



一時移転先のF&Fロイヤルビル。写真は2020年代のもの。移転時は前年竣工の真新しいビルだった。

○3月13日

資料委員会、全国民間出版社宛地図発行状況のアンケート調査開始。

○3月29日

理事会・評議員会 於学士会館

○3月30日

第10回国際歴史地図学史会議参加および「ヨーロッパ地図事情視察報告書」刊行 B5判28頁。

### 昭和59 (1984) 年度

○4月4～5日

日本地理学会春期学術大会 地図展「太平洋の島嶼」開催 於お茶の水女子大学



○4月29日

渡辺光理事長逝去。寄付行為により下中専務理事理事長代理となる。

○6月7日

竹村吉右衛門評議員逝去

○6月23日

セミナー「蝦夷地の地図」開催 於東京国立博物館

○6月26日

理事会・評議員会 於学士会館

○6月30日

受託事業「高度データベースシステムの開発に関するファイジビリティスタディー地図情報データベース」をデータベース振興財団より受託。

○8月5日

堀越巴評議員逝去

○8月3～13日

第12回国際地図学会議(ICC)参加 専務理事下中直也他、監事蛭田利之他。於オーストラリア・パース

○8月7～8日

「日本国際地図学会定期大会」地図展「太平洋の小さな島国」開催 於郁文館学園

○8月10日

野間省一顧問逝去

○9月10日

「地図学の基礎」刊行。発売元帝国書院 Arthur H. Robinson 著 永井信夫訳。B5判414頁。



○10月20日

見学会「地図にみる江戸の川」神田川ボート・ツアー開催 講師：師橋辰夫

○11月1日

渡辺よし氏より故渡辺光理事長の遺志で100万円の寄贈を受ける。

○12月14～16日

秋田佐竹藩の地図類の展示を千秋文庫と共催 於千秋文庫。

○12月20日

経団連役員日本精工会長今里広記氏へ「地図博物館設立構想」を提出。

○1月25日

事務所をロイヤルビルより改築された日本弘道会ビルへ引越・移転。



日本弘道会ビル7階に事務所を置いた。

○3月5日

臨時理事会・評議員会開催。於地図情報センター会議室。寄附行為の一部改訂。内容は日本弘道会ビル改築完成による事務所の移転の決議。

○3月28日

理事会・評議員会開催 於地図情報センター会議室

## 昭和60 (1985) 年度

○4月29日

渡辺前理事長追悼録「渡辺光その人と仕事」を渡辺光追悼録刊行会（委員長高崎正義 地図情報センター内）により編集刊行。A5判426頁。

○5月11日

野村正七理事逝去

○5月30日

今里広記氏逝去

○6月19～20日

バス見学会「筑波研究学園都市の国土地理院、地質調査所標本館及び'85万博」

○6月24日

理事会・評議員会開催 於地図情報センター会議室

○8月6～7日

日本国際地図学会定期大会参加 地図展「小さな国の大縮尺の地図」 於郁文館学園

○10月31日

臨時理事会・評議員会開催 於麴町クラブ関東和達清夫理事長、西川治副理事長就任

○11月23日

常任理事会

○11月28日

財務委員会発足

○12月1日

田中千代氏より故田中薫氏の外国地図及びアトラス等寄贈。

○12月11日

和達清夫理事長就任記念祝賀会 於日本弘道会ビル8階講堂



○12月27日

竹田恒徳名誉顧問を囲む会。於山の上ホテル。

○2月4日

「地図の開く世界」刊行。西川治著 A5判258頁。

○3月24日

理事会・評議員会 於地図情報センター会議室。

## 昭和61 (1986) 年度

○5月

田中千代氏より故田中薫氏所蔵の地図、アトラス類寄贈。小川政博氏より故小川彦平氏所蔵の地図類寄贈。

○6月23日

理事会・評議員会 於地図情報センター会議室

○6月30日

受託事業「地名・座標変換データベースの構築」をデータベース振興財団より受託。

○7月8日

和達理事長の招集で「地図博物館設立推進連絡会（仮称）」を開催 於東京地学協会

○7月18日

見学会「三井文庫に江戸図を見る」開催 講師：師橋辰夫

○8月6～7日

日本国際地図学会定期大会展示参加 地図展「さばく地帯の村と町」 於郁文館学園

○8月18日

「地図博物館設立連絡会（地図博連）」第1回会合開催 於東京地学協会

○8月25～29日

IFLA東京大会「地誌・地図分科会」に参加 於青山学院大学

○11月14日

バス見学会「長久保赤水の地図を訪ねる会」開催 於高萩市



○12月17日

東京都知事に「国際地域情報センター」設立要望書を提出。

○12月30日

機関誌「地図情報」特集地図博物館を発行。

○3月23日

理事会・評議員会 於学士会館

#### 昭和62（1987）年度

○5月8日

見学会「海上保安庁水路部」実施。

○6月3日

東京都へ「国際地域情報センター」を東京国際フォーラム室内に創設するための要望書提出。

○6月10日

野間惟道前顧問逝去

○6月29日

理事会・評議員会 於主婦会館

○7月7日

蛭田利之監事逝去

○8月5～6日

日本国際地図学会定期大会参加 地図展「アフリカ」於海上保安庁水路部

○8月18日

東京都に「国際地域情報センター」の展示施設の構想を提出。ヒアリングを受ける。

○11月6日

「神戸市立博物館所蔵地図特別鑑賞会及び研究発表会」開催 於神戸市立博物館

○2月15日

日本学術会議ホールで「国立地図学博物館」設立アピールのための地図展に参加。

○3月29日

理事会・評議員会 於主婦会館

#### 昭和63（1988）年度

○4月21日

日本学術会議第104回総会において「国立地図学博物館（仮称）」の設立について勧告採択される。

○4月23日

見学会「佃島～築地方面をめぐる」開催 講師：師橋辰夫

○6月2日

ICA会議事務局長ハンガリーのEtnö Csáti氏を囲む会実施 於主婦会館

○6月20日

見学会「国立公文書館内閣文庫所蔵地図鑑賞と研究」開催 於国立公文書館

○6月29日

理事会・評議員会 於主婦会館

○7月7日

多摩市より受託研究「調布多摩川総畫圖」研究・復刻事業受託。10月31日成果物提出。

○8月3～4日

日本国際地図学会定期大会展示参加 地図展「世界の首都」 於法政大学工学部

○11月1日

臨時理事会・評議員会 於主婦会館。

○11月2日

見学会「多摩川上・中流域地図研修巡検」開催。

○3月30日

理事会・評議員会 於主婦会館

○3月30日

昭和63年度自主研究刊行

「都市景観データベースの研究」久保幸夫（お茶の水女子大学助教授）

「季節推移の地域性に関する研究」野上道雄（東京都立大学教授）

「地図情報とCAIの方向及びその内容に関する研究」林秀則（元安川情報システム顧問）

「多摩川にみる自然河川から人工河川への変遷」内田和子（東京都教育委員会）

### 平成元（1989）年度

○6月23日

理事会・評議員会 於主婦会館

○8月2～3日

日本国際地図学会定期大会参加 地図展「地下の地図」 於つくば科学技術研究交流センター

○9月30日

見学会「地図で巡る川越」開催



○10月28～29日

日本国際地図学会広島地方大会参加 地図展「地下の地図」 於広島大学法学部

○11月11日

見学会「新宿歴史博物館と玉川上水」開催

○3月29日

理事会・評議員会 於学士会館

○3月30日

受託事業「国立地図学博物館誘致構想」作成。成果物を犬山市に提出。

受託事業「世界民族衣装コレクション世界地図（1：2500万）」を田中千代学園に提出。

### 平成2（1990）年度

○4月13日

ICA会長ティラー博士を伊能忠敬記念館（佐原市）他に案内。

○4月25日

「地域情報ニュース」（月刊）を4月号より発行。

○6月28日

理事会・評議員会 於アルカディア市ヶ谷

○8月21～22日

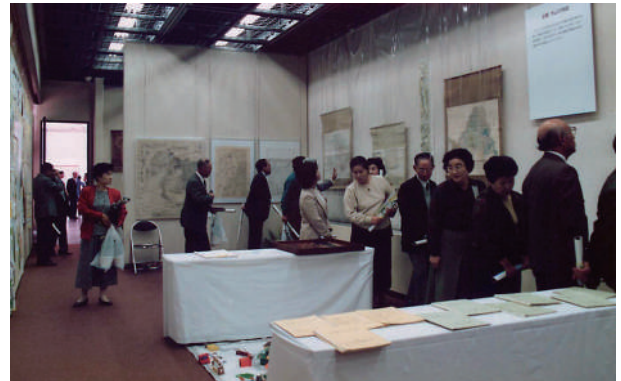
日本国際地図学会定期大会参加 地図展「世界の名山」 於日本大学経済学部

○9月14日

和達清夫理事長「米寿を祝う会」開催 於クラブ関東

○10月25～26日

地図展「地図で見る犬山」開催 於犬山市



○12月1日

見学会「真鶴を歩く」開催 講師：式正英



○12月20日

報告書「地図資料所蔵状況及び地図展に関する調査」作成

○3月22日

理事会・評議員会 於アルカディア市ヶ谷

○3月30日

小冊子「新しい世界の姿」、「地図学博物館概要」、「地図学博物館」作成。成果物を犬山市に提出。

「グローバルパークの基本構想策定及び模型」作成。成果物を佐原市に提出。

### 平成3（1991）年度

○5月6日

財団法人地図情報センター創立10周年を迎える。

○6月18日

理事会・評議員会 於日本出版クラブ会館

○7月14日

見学会「野川の源流をたずねて」開催

○8月7～8日

日本国際地図学会定期大会参加 地図展「フィヨルドの地図」 於千葉県立中央博物館

○8月25～28日

「環境変化と地理情報システム」国際会議に協賛。

○11月6日

「財団法人地図情報センター設立10周年記念の会」開催 於学士会館



○11月16日

巡検「織物のまち桐生をたずねる」開催 講師：伊藤等

○11月18日

「地図学博物館誘致研究会」参加 於名古屋観光ホテル

○12月13日

常任理事会

○12月16日

行事委員会

○1月28日

資料委員会

○1月31日

梅棹忠夫理事文化功労賞受賞顕彰祝賀会 於大阪ロイヤルホテル

○2月28日

大地球儀贈呈式。於犬山市犬山中学校

○3月26日

理事会・評議員会 於日本出版クラブ会館

○3月30日

受託事業「小菅村景観ガイドプラン」成果を小菅村に提出。

□編集委員会

11月22日、1月10日、2月25日

## 平成4 (1992) 年度

○4月30日

受託事業「日本全国地図資料所蔵状況」を犬山市に提出。

○6月20日

巡検「都内に鎌倉街道を歩く」講師：清水靖夫

○6月25日

理事会・評議員会 於学士会館

○6月30日

栃折多喜郎任意団体事務局長逝去

○7月2～14日

地図展「日本近代地図の曙展」協賛 於銀座ミキモトホール

○8月3日

矢守一彦理事逝去

○8月4～5日

日本国際地図学会地図展「海の国-対景図を中心として-」参加 於郁文館学園



○8月13日

山梨県小菅村へ景観ガイドプラン策定のため調査。

○10月5日

金崎肇先生寄贈「迅速2万分1」研究会開催

○11月21日

巡検「銚子・犬吠埼を巡る」開催 講師：清水靖夫・伊藤等

○12月8日

富士通研究所見学研修会に参加

○12月16日

「地域情報ニュース(AIN)」FD化研究会

○1月6～28日

「千秋文庫館蔵古地図展」研修

○2月1日

地図学博物館誘致促進研究会参加(主催犬山市、於名古屋観光ホテル、西川治理事他)

○3月6日

「小菅村景観ガイドプラン」による“日本一美しい村づくり”講演会 於小菅村中央公民館



○3月23日

理事会・評議員会 於学士会館

□編集委員会

4月30日、5月28日、6月26日、7月31日、9月2日、10月8日、  
11月20日、1月22日、2月19日、3月26日

□行事委員会

7月8日、9月29日

□データベース委員会

9月16日、1月28日

#### 平成5 (1993) 年度

○4月7日

木内信蔵名誉理事逝去

○4月30日

村野京一事務局就職

本年度より「地域情報ニュース」をFDで提供開始

○5月29日

巡検「サントリー美術館と天理ギャラリー」開催 講師：海野一隆



○6月25日

理事会・評議員会 於アルカディア市ヶ谷

○7月4日

高崎正義理事逝去

○7月15日

文部省訪問 学術データベース打ち合わせ

○8月4日

日本国際地図学会地図展「地図に観る江戸の内外」  
参加 於立正大学

○9月2日

ICIC構想委員会(仮称)「地図資料館」を東松山に建設について提案。

○10月19日

栃折多喜郎寄贈地図資料検討の会

○12月11日

巡検「立正大学田中啓爾文庫所蔵地図鑑賞と品川～高輪地区」開催 講師：正井泰夫



○3月25日

理事会・評議員会 於アルカディア市ヶ谷

□編集委員会

4月23日、5月21日、7月9日、8月20日、10月22日、11  
月19日、12月22日、1月24日、2月24日、3月25日

□行事委員会

6月8日

□地図資料データベース委員会

1月10日

#### 平成6 (1994) 年度

○5月3日

下中直也専務理事 勲四等瑞宝章受章

○6月2日

「田中千代先生服飾研究教育六十年を記念する会」  
出席 於帝国ホテル

○6月24日

理事会・評議員会 於学士会館



○7月2日

雑誌「AERA」より取材 当財団の活動について

○7月25日

日本国際地図学会地図展「地理歴史科〔地理〕で活用されている地形図」参加 於駒澤大学



○7月28日

高崎正義氏を偲ぶ会 於飯田橋会館

○8月12日

平成6年度科学研究費補助金「研究成果公開促進費」交付決定

○10月27日

梅棹忠夫理事が文化勲章受章、服部敏幸理事が勲一等瑞宝章を受章。

○11月12日

巡検「渡良瀬遊水池見学と古河歴史博物館」開催  
講師：師橋辰夫、清水靖夫



○12月1日

「地歴教科書に掲載されている地図データベース報告書」作成

○1月5日

和達清夫理事長逝去

○3月9日

常任理事会

○3月16日

外邦図「セイロン」など80枚を浅井辰郎氏より寄贈。

○3月17日

宮川暢三評議員逝去

○3月20日

理事会・評議員会 於学士会館

○3月20日

「画像付地図資料データベースのプロトタイプの実験」報告書をデータベース振興財団に提出

□編集委員会

4月22日、8月24日、9月26日、10月28日、12月9日、2月10日、3月25日

□行事委員会

7月14日、10月19日、12月27日

□データベース委員会

9月28日、12月16日

### 平成7 (1995) 年度

○4月13日

犬山市にて「観光地図展」を打ち合わせ。

○4月24日

当財団地図資料の一部を朝霞より東京印書館第2工場（埼玉県玉川村）へ移転完了。

○5月25日

「山梨県白州町調査報告書」提出

○6月22日

理事会・評議員会 於学士会館

○6月24日

巡検「初夏の上野界隈を巡る」開催 講師：師橋辰夫

○7月3日

西田守事務局に就職

○7月26日

日本国際地図学会地図展「東京の防災地図」参加

◇11月23日

「Windows '95」日本語版発売。地図がコンピュータ制作の時代に入る。

○11月25日

巡検「相模原市立博物館と生糸市場の名残を訪ねる」開催 講師：浜田宏明（相模原市立博物館）



○11月27日

講談社松崎鉄蔵氏より地図資料寄贈

○1月17日

臨時理事会・評議員会 於クラブ関東  
梅棹忠夫理事長就任

○2月20日

「ポルトガルの古地図展」開催 於九段社会教育会館  
主催：地図情報センター、ポルトガル大使館他



□編集委員会

5月26日、8月11日、9月27日、11月1日、12月8日、3月22日

□行事委員会

5月1日、9月18日、10月25日、1月11日

#### 平成8 (1996) 年度

○4月6日

多摩市役所にて地図展基本計画の検討

○5月3日

多摩国際研究集会「世界地図展」開催 於パルテノン多摩

○5月17日

常任理事会

◇6月1日

「地図と測量の科学館」開館(つくば市)

○6月12日

理事会・評議員会 於学士会館 梅棹新理事長出席

○7月5日

平成8年度科学研究費補助金「研究成果公開促進費」  
交付決定

○7月12日

地図資料データベース委員会

○8月29日

山梨県明野村調査

○10月12日

セミナー「日本の古地図、世界の古地図」開催 於  
日本教育会館 「安田雪州の本邦西北辺境水陸図に  
ついて」講師：堀内立三、「西洋の古地図いろいろ」  
講師：藤原英郎

○11月23日

セミナー「地形図」開催 於地図と測量の科学館  
「魅力ある地図作り」講師：山岡光治

○12月14日

セミナー「教育と電子地図」開催 於立正大学大崎  
校舎 講師：鈴木厚志



○2月21日

常任理事会

○2月26日

セミナー「海図」開催 於海上保安庁水路部 「新しい  
海の地図作り」講師：上田秀敏

○3月24日

理事会・評議員会 於学士会館

○3月30日

「明野村景観ガイドプラン策定調査報告書」  
を山梨県明野村に提出

□編集委員会

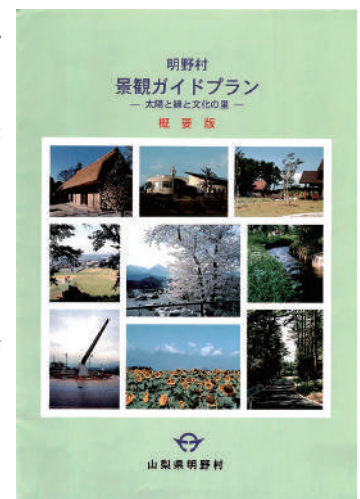
4月26日、6月7日、7月19日、8月30日、10月11日、12月6日、1月24日、3月7日

□行事委員会

4月16日、9月5日

□ICIC研究会

7月29日、8月19日、9月10日、9月20日、10月21日、11月22日、12月25日、1月31日



#### 平成9 (1997) 年度

○6月4日

師橋辰夫監事逝去

○6月16日

理事会・評議員会 於学士会館

○6月28日

巡検・セミナー「神奈川県歴史博物館・横浜開港資料館・港湾付近」開催 講師：嶋村元宏、井口悦男



○7月17日

地図調査委員会「宇宙衛星画像とGISと紙地図」

○7月26日～8月31日

相模原市立博物館特別展「絵図から地形図」の展示に資料協力。

○11月8日

「古地図シンポジウムの展示会」協賛 於新宿文化センター

○11月13日

江戸英雄顧問逝去

◇11月24日

山一証券、自主廃業を決定。このころから景気の悪化が深刻に。低金利時代となる。

○12月19日

井深大顧問逝去

○1月30日

セミナー「災害に役立つ地図」開催 於千代田区民会館 講師：中村三郎、小山淳



○2月13～15日

第1回「身の回りの環境地図作品展」後援 主催多摩市

○3月19日

理事会・評議員会 於学士会館

○3月30日

「オーサリング型地図付きガイドデータベースプロトタイプ」の構築 報告書をデータベース振興財団に提出。

□編集委員会

4月18日、5月30日、7月7日、9月5日、10月24日、1月16日、2月27日

□行事委員会

10月6日、2月17日

### 平成10(1998)年度

○4月3日

バーチャルミュージアム構想検討会

◇4月9日

「東京大学空間情報科学研究センター」設立

○5月11日

ホームページ研究会

○5月31日

事務局 塩川友弥子退職、後任松浦恵子

○6月19日

理事会・評議員会 於学士会館 久田龍二理事・事務局長退任、後任西田守事務局長

○6月27日

事務所を神保町センタービル5階に移転。(千代田区神保町)

○7月22日

平成10年度科学研究費補助金「研究成果公開促進費」交付決定

○8月20日

常任理事会

○10月12日

文部省より寄付行為変更認可受理(主たる事務所の変更)

○11月6日

研修会「コンピュータマッピング」開催 於アルプス社(名古屋市)



神保町センタービル5階に事務所を移転。場所は神田古書店街の中心地。移転当初は写真左側の日本工業大学はなく、マフィン店があった。写真右側の空き地は雑貨店と金物店だった。

○12月6日

巡検「見沼通船掘他」開催 講師：井口悦男



○12月15日

地図資料データベース委員会・科研費委員会

○2月5日

第2回「多摩市身の回りの環境地図作品展」後援

○2月13日

国際フェスタ in TAMA '99に協力 於パルテノン多摩

○2月14日

山本莊毅参与逝去

○2月20日

セミナー「田中薫先生寄贈のATLASをみる」開催  
於地図情報センター 講師：鈴木純子



○3月24日

理事会・評議員会 於学士会館

□編集委員会

4月9日、5月15日、6月19日、7月17日、9月10日、10月30日、  
11月30日、1月29日、3月5日

□行事委員会

5月19日、12月10日

### 平成11 (1999) 年度

○5月30日

巡検「新河岸川の河岸場跡と川越市」開催 講師：  
伊藤等

○6月10日

学術情報センターよりホームページ設置認可受理

○6月24日

理事会・評議員会 於学士会館

○6月30日

平成11年度科学研究費補助金「研究成果公開促進費」  
交付決定

○7月21日

江藤淳評議員逝去

○7月23日

高山英華顧問逝去

○8月10日

地図情報センター ホームページ公開

○9月6日

船山真之評議員逝去

○11月3日

梅棹忠夫理事長勲一等瑞宝章受章

○11月3日

佐治敬三顧問逝去

○11月13～28日

第1回「鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」後援  
於鳥取市

○11月21日

巡検「地図と歩く日本橋」開催 講師：鵜飼幸雄



○2月25日

第3回「多摩市身の回りの環境地図作品展」後援

○3月23日

理事会・評議員会 於学士会館

□編集委員会

4月16日、6月4日、7月23日、9月20日、11月5日、1月14  
日、3月3日

### 平成12 (2000) 年度

○4月4日

科研費委員会

○6月18日

巡検「横浜市中区界限」開催 講師：伊藤等



○6月22日

理事会・評議員会 於学士会館

○7月9日

平成12年度科学研究費補助金「研究成果公開促進費」交付決定。これで財団の所蔵地図データベースが完成。

○7月27日

当財団ホームページがYAHOO!カテゴリーに登録。アクセス数が大幅増加。

○10月11日

猪瀬博理事逝去

○10月31日

真鍋博評議員逝去

○11月2日

巡検「隅田川下りと臨海地域」開催 講師：鵜飼幸雄



○2月7日

データベース委員会

○3月26日

理事会・評議員会 於学士会館

○3月30日

「インターネット環境における博物館型データベースの研究」報告書をデータベース振興財団に提出。

□編集委員会

4月14日、6月9日、8月3日、9月22日、10月27日、12月8日、2月9日、3月23日

□行事委員会

4月25日、10月17日、3月6日

平成13 (2001) 年度

○4月13日

池辺穰元評議員逝去

○5月29日

常任理事会

○6月19日

理事会・評議員会 於学士会館

○7月24~25日

日本国際地図学会「定期大会地図・図書展」に出展

○9月4日

インターネット委員会

○11月11日

第5回「多摩市身の回りの環境地図作品展」後援

○11月17日

巡検「三浦半島・荒崎」開催 講師：伊藤等

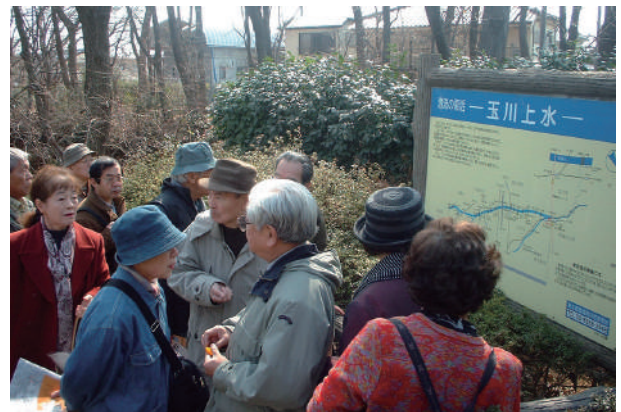


○12月8日

第3回鳥取「児童生徒地域地図発表作品展」後援

○2月23日

巡検「多摩都市モノレール沿線を行く」開催 講師：鵜飼幸雄



○3月26日

理事会・評議員会 於学士会館

○2月

国際地学協会「21世紀の世界地図」の情報地図に編集協力。



□編集委員会

5月11日、6月15日、7月19日、9月6日、10月19日、11月30日、1月18日、3月1日

□行事委員会

8月8日、11月12日

### 平成14 (2002) 年度

○4月10日

文部科学省より「査察 (第1回)」

○6月6日

下中邦彦理事逝去

○6月8日

巡検「大森としながわ水族館」開催 講師：伊藤等



○6月10日

常任理事会

○6月25日

理事会・評議員会 於学士会館

梅棹忠夫顧問となり、下中直也理事長に就任。

「財団法人地図情報センター 設立20周年記念の会」

開催 於学士会館

○6月27日

井関弘太郎元評議員逝去

○7月24~26日

日本国際地図学会「定期大会併催地図・図書展」に出展

○9月19日

常任理事会

○10月



国際地学協会「これでわかった平成の市町村大合併」  
の分県地図編集協力。

○11月2日

第1回埼玉「彩の国環境地図展」を後援

○11月8日

第4回鳥取「児童生徒地域地図発表作品展」を後援

○11月18日

常任理事会

○11月24日

第6回多摩「身のまわりの環境地図作品展」を後援

○1月10日

浅田敏元評議員逝去

○1月23日

事務局沢田カヨ子退職、後任荒木淳子

○2月8日

巡検「浦安と旧海岸地帯を歩く」開催 講師：伊藤等



○3月27日

理事会・評議員会 於学士会館

□編集委員会

4月26日、6月14日、7月22日、10月4日、12月6日、1月31日、  
3月14日

□行事委員会

6月8日、1月23日

#### 平成15 (2003) 年度

○5月16日

佐々保雄顧問逝去

○6月9日

常任理事会

○6月17日

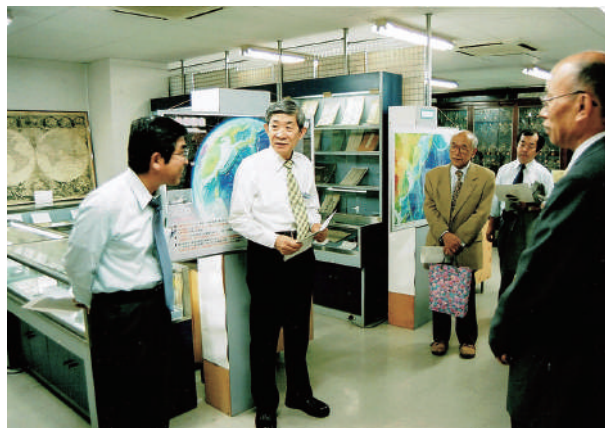
セミナー「国際協力事業団の地図」開催 講師：鈴木純子

○6月27日

理事会・評議員会 於学士会館

○9月26日

セミナー「海上保安庁の海図を見る」開催 講師：今井健三



○11月15日

第2回埼玉「彩の国環境地図作品展」を後援

○11月24日

第7回「多摩市身のまわりの環境地図作品展」後援

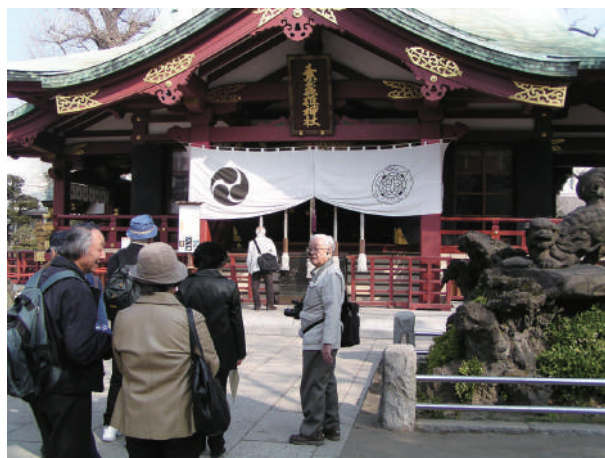
○11月29日

巡検「都電荒川線を行く(西半)」開催 講師：鶴飼幸雄

第5回鳥取「児童生徒地域地図発表作品展」を後援

○2月21日

巡検「都電荒川線を行く(東半)」開催 講師：鶴飼幸雄



○3月27日

理事会・評議員会 於学士会館

□編集委員会

5月16日、7月4日、9月12日、11月7日、1月9日、1月23日、  
3月27日

□行事委員会

5月13日、11月20日、1月23日

#### 平成16 (2004) 年度

○4月20日

文部科学省より「査察(第2回)」

○4月21日



事務局員山久子所員・研究員逝去

○6月4日

常任理事会

○6月29日

理事会・評議員会 於学士会館

下中直人専務理事に就任

○9月20日

坂戸直輝元理事逝去

○11月14日

第8回「多摩市身のまわりの環境地図作品展」後援

○11月27日

第6回鳥取「児童生徒地域地図発表作品展」を後援

○12月4日

第3回埼玉「彩の国環境地図作品展」を後援

○2月15日

巡検「下町を歩く 両国～門前仲町」開催 講師：鶴飼幸雄



○3月11日

日本環境財団、福岡理事長来所（財団への出資についての申し入れ）

○3月23日

常任理事会

○3月28日

理事会・評議員会 於学士会館



□編集委員会

4月16日、8月20日、10月15日、12月10日、2月2日

□行事委員会

11月8日

平成17(2005)年度

○5月7日

白浜陸男評議員逝去

○6月21日

常任理事会

○6月28日

理事会・評議員会 於学士会館

◇7月

Googleマップ日本語版提供開始。Web地図元年。

○9月6日

日本環境財団、福岡理事長訪問の申し入れに回答

○10月4日

「財団の今後についての基礎資料」完成

○10月22日

巡検「つくばエクスプレスに乗って「地質標本館」を見学」開催 於地質標本館 講師：伊藤等



○11月12日

第9回「多摩市身のまわりの環境地図作品展」後援

○11月15日

文部科学省に「財団の今後についての基礎資料」協議

○11月19日

第7回鳥取「児童生徒地域地図発表作品展」を後援

○12月3日

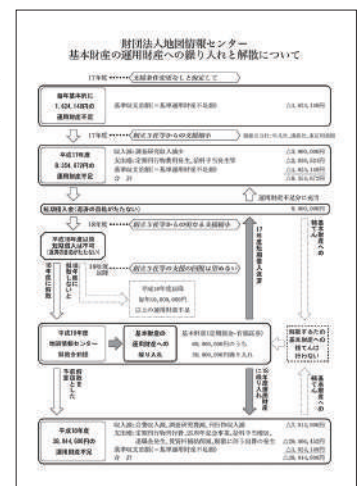
第4回埼玉「彩の国環境地図作品展」を後援

○12月9日

常任理事会

○3月28日

理事会・評議員会 於学士会館



○3月31日

文部科学省へ「基本財産処分承認申請書」提出

□編集委員会

4月8日、6月10日、8月4日、10月7日、2月10日

□行事委員会

7月15日

### 平成18 (2006) 年度

○4月15日

巡検「江ノ島と水族館を巡る」開催 講師：伊藤等



○4月21日

玉川工場保管の基本財産調査開始。この後、5月12日、7月20日、10月4日に調査。

○5月4日

海野一隆理事逝去

○5月19日

文部科学省より「基本財産処分承認申請書」の認可確定の連絡

○6月27日

理事会・評議員会 於学士会館

○7月14日

武久義彦評議員逝去

○9月29日

25周年記念式典実行委員会

○10月18日

織田武雄名誉理事逝去

○10月25日

常任理事会

○11月1日

文部科学省「寄付行為の一部変更」打合せ

○11月7日

梅棹忠夫顧問訪問。25周年記念式典の件について報告・打合せ。

○11月11日

第10回「多摩市身のまわりの環境地図作品展」後援

○11月13日

25周年記念式典実行委員会

○11月22日

「財団設立25周年 記念の会」開催 於学士会館

○11月26日

第8回鳥取「児童生徒地域地図発表作品展」を後援



○11月30日

「地図情報」創立25周年記念号(第99号)発行

○12月3日

第5回埼玉「彩の国環境地図作品展」を後援

○12月21日

「寄付行為の一部変更」の書面表決議決(解散時の基本財産寄附法人に学校法人等追加)

○12月25日

文部科学省に「寄付行為の一部変更申請書」および臨時理事・評議員会議事録提出

○1月30日

文部科学省から「寄付行為の一部変更許可証」交付

○1月31日

臨時理事会・評議員会 於 学士会館

○3月3日

巡検「小田原・二宮金治郎のふるさとを訪ねて」開催  
講師：中村静夫、伊藤等



○3月24日

巡検「横須賀・自然人文博物館と猿島、三笠」開催  
講師：今井健三、伊藤等



○3月30日

「地図情報」第100号 地図情報センター 25年間のあゆ

み発行

○編集委員会

4月7日、5月8日、7月7日、6月2日、8月4日、9月8日、10月6日、10月30日、12月8日、1月12日、2月8日、3月2日

○行事委員会

4月6日、10月3日、11月30日、1月25日、2月22日

○残余財産処理委員会

6月27日、7月11日、12月14日

○基本財産評価委員会

5月15日、6月5日、6月19日、7月3日、7月10日、7月24日、8月7日、8月21日、8月28日、9月4日、9月11日、9月25日、10月2日、10月12日、10月19日

○玉川工場保管基本財産調査

4月21日、5月12日、7月20日、10月4日



#### 平成19(2007)年度

○6月13日

常任理事会

○6月15日

「地図情報」第27巻1号通巻101号発行。この号からA4判フルカラーとなった。

○6月26日

理事会・評議員会 於 学士会館

杉山博幸評議員、堀江元評議員退任、伊藤等評議員就任。下中直也理事長、西川治理事、野間佐和子理事、柳田和哉理事退任、斎藤隆理事、杉山博幸理事就任。

○9月26日

文部科学省より「査察(第3回)」。各種規定作成、有形財産額の確定、正味財産計算書のストック式への変更が指示された。

○11月12日

臨時理事会 於 学士会館

○12月22日

巡検「池上本門寺と昭和のくらし博物



館」開催  
講師：伊藤等



○2月28日

佐藤昌夫監事逝去

○3月24日

理事会・評議員会 於学士会館 徳家正監事就任。

□編集委員会

4月27日、5月25日、7月20日、9月7日、10月26日、12月7日、  
1月25日、3月28日

□行事委員会

11月1日、2月13日

#### 平成20 (2008) 年度

○4月5日

巡検「癒やしの町 青梅を歩く」開催 講師：伊藤等



○5月14日

常任理事会

○6月24日

理事会・評議員会 於学士会館

正井泰夫理事長就任 佐野文一郎理事、松原正毅理事  
退任。井口悦男評議員、清水靖夫評議員、金坂清則評議員退任。  
井口悦男理事、清水靖夫理事、金坂清則理事、星埜由尚理事就任。  
小林茂評議員、滝沢由美子評議員、水谷一彦評議員就任。

◇7月11日

iPhone 3G発売。スマホ時代始まる。

○8月8～9日

地図展「日本国際地図学会」開催 於地図と測量の科学館



○8月20日

服部敏幸顧問逝去

○9月11日

理事長会議

○10月2日

「視察船・新東京丸で巡る東京港」開催 講師：今井健三



○10月14日

理事長会議

○11月29日

第12回「多摩市身のまわりの環境地図作品展」後援

◇12月1日

公益法人制度改革開始。財団の一般・公益を選択。

○12月6日

巡検「草加と渡辺教具見学」開催 講師：伊藤等



○12月10日

常任理事会・理事長会議

○1月29日

臨時理事会（公益法人制度改革）

○3月3日

組織検討委員会（公益法人改革に伴う組織変更）

○3月6日

経営検討委員会、事業検討委員会

○3月17日

理事会・評議員会 於帝国書院



□編集委員会

4月18日、6月27日、8月1日、10月3日、11月7日、12月12日、1月30日、3月27日

□行事委員会

5月15日、7月31日、11月13日、1月15日

### 平成21（2009）年度

○4月11日

巡検「穴守稲荷と羽田界限」開催 講師：伊藤等



○6月2日

常任理事会

○6月16日

理事会・評議員会 於帝国書院。評議員 船越昭生、高橋裕退任。評議員 安仁屋政武、今尾恵介、斉藤忠光、田代博、新村明義、芳賀啓、藤本一美就任。監事西田守就任。

○6月28日

事務局長西田守退任、本田大作就任

○8月19～20日

地図展「日本国際地図学会定期大会」開催 於立正大学大崎

○10月24日

バス巡検「横川・坂本宿」開催 講師：伊藤等



○10月31日

第13回「多摩市身のまわりの環境地図作品展」後援



○12月5日

巡検「横浜みなとみらい」開催 講師：伊藤等

○12月14日

理事長・専務理事会議

○12月27日

「実践マップスキル研究会」沖縄大会開催

○1月29日

常任理事会

○3月2日

理事長・専務理事会議

○3月18日

理事会・評議員会 於帝国書院。評議員山口政廣退任、稲木歳明就任（4月1日付）。

□編集委員会

4月17日、6月19日、7月24日、10月2日、10月29日、12月18日、1月22日、3月19日

□行事委員会

5月7日、8月6日、11月12日、1月28日

□事業委員会

6月4日、7月16日、8月24日、9月29日、11月5日、12月25日、  
2月12日

□組織委員会

4月30日、2月10日

□経営委員会

3月5日

### 平成22 (2010) 年度

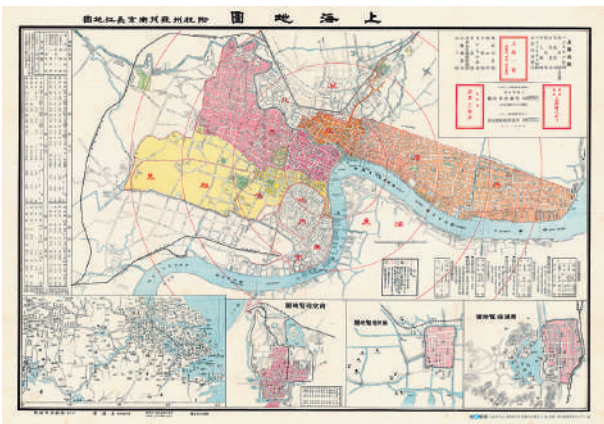
○4月10日

巡検「船橋」開催 講師：伊藤等



○5月31日

地図情報113号「変貌する都市・上海」より機関誌に  
付録（113号は「上海地図」ポスター）を添付。



○6月4日

常任理事会

○6月15日

理事会・評議員会 於帝国書院。理事齊藤隆退任、  
萩野和一郎就任（専務理事）。評議員五十嵐公次退任。  
一般財団法人への移行決定。

○8月31日

西村蹊二理事逝去

○7月20日

進藤誠事務局次長に就任

○8月19～20日

地図展「日本国際地図学会」出展 於日本大学



○10月18日

常任理事会

○10月23日

セミナー・巡検「迅速図と（建設中の）東京スカイツ  
リ」開催 講師：井口悦男、伊藤等



○10月28日

臨時理事会 於帝国書院

○11月27日

第14回「多摩市身のまわりの環境地図作品展」後援

○12月11日

巡検「古河」開催 講師：伊藤等



○12月25日

「マップスキル指導者養成講座」金沢大会開催

○2月10日

最初の評議員選定委員案

○3月11日

常任理事会会議中に東日本大震災発生。所蔵地図帳など大きな被害を受ける。

○3月18日

理事会・評議員会  
於帝国書院  
最初の評議員選定委



員選出。最初の評議員選定委員会 運営規則議決。  
一般財団法人地図情報センター 定款案可決。

□編集委員会

4月19日、6月18日、7月22日、9月24日、10月21日、12月7日、1月28日

□行事委員会

5月6日、8月6日、11月4日、1月20日

□事業委員会

4月8日、7月9日、9月10日、11月12日、1月21日

□移行委員会

4月23日、5月31日、8月27日、10月28日、12月9日、1月27日

### 平成23 (2011) 年度

○4月11日

常任理事会

○6月8日

常任理事会

○6月16日

理事会・評議員会 於帝国書院

○6月25日

巡検・見学会「江戸の町づくり地図展と六本木・広尾巡検」開催 講師：伊藤等



○7月20日

本田大作事務局長退任、進藤誠事務局長就任

○7月29～30日

「第4回マップスキル初級講座(千代田区)」開催

○8月8～9日

地図展「日本国際地図学会」出展 於国士舘大学



○8月23日

「第18回マップスキル 教師のための夏季1日講座(神戸市)」開催



○10月15日

巡検・セミナー「曳舟と墨田」開催 講師：井口悦男・伊藤等

○10月18日

常任理事会

○11月12日

第15回「多摩市身のまわりの環境地図作品展」後援



○11月17日

内閣府に一般財団法人への移行認可を申請。

○12月3日

「彩の国環境地図作品展」を後援



○12月10日

巡検「日本一小さい市 蕨市巡検」開催 講師：伊藤等



○12月25日

財団ホームページを国立情報学研究所の学会サーバからさくらインターネットに移行。

○1月19日

内閣府大臣官房に移行認可申請書（修正）提出

○2月24日

最初の評議員会（一般財団法人）

○3月2日

常任理事会

○3月7日

内閣府から一般財団法人への答申書

○3月21日

理事会・評議員会 於帝国書院 財団法人最後の理事会



○3月31日

巡検「人形と旧跡の町 岩槻」開催 講師：伊藤等

□編集委員会

4月8日、6月7日、7月19日、9月20日、12月13日、1月24日、3月27日

□行事委員会

4月28日、7月21日、10月27日、1月26日、3月27日

□事業委員会

4月7日、5月26日、9月10日、2月7日

□移行委員会

4月11日

### 平成24 (2012) 年度

○4月1日

一般財団法人登記完了（移行認可）。一般財団法人地図情報センターとなる。

理事長中村和郎、専務理事杉山博幸、ほか理事8名、監事3名、評議員10名で発足。

○4月4日

下中直也元理事長逝去

○4月17日

移行登記完了届出

○6月11日

常任理事会

○6月19日

理事会 於帝国書院

○6月22日

評議員会 於帝国書院

○6月25日

公益目的財産額の確定

○7月18日

見学会「東京みなと館と海洋情報部見学」開催

講師：今井健三





○7月21日

「マップスキル研究会鳥取大会」開催



○8月23～24日

地図展「日本国際地図学会」出展 於専修大学生田校舎

○8月25日

「マップスキル研究会北海道大会」開催

○9月19日

公益目的財産額の確定通知(内閣府)

○11月20日

正井泰夫前理事長逝去

○12月1日

巡検「猿橋」開催 講師：伊藤等



○3月12日

常任理事会

○3月26日

理事会 於帝国書院

□編集委員会

4月10日、6月26日、7月17日、9月18日、10月23日、12月11日、1月29日、3月22日

□行事委員会

4月26日、8月6日、11月2日、1月18日

□事業委員会

12月18日、3月19日

平成25(2013)年度

○6月5日

理事会 於帝国書院

○4月6日

巡検「関口教会・椿山荘界限」開催 講師：伊藤等



○5月15日

事務局荒木淳子退職、後任安達房枝

○6月20日

評議員会 於帝国書院

○6月25日

公益目的支出計画を内閣府に提出

○8月1～2日

「日本地図学会」地図展出展 於東京大学柏の葉キャンパス



○8月9日

「マップスキル研究会奈良大会」開催



○8月24日

「マップスキル研究会栃木大会」開催

○10月1日

「地図情報」付録小冊子「世界の地図情報2013」発行 B5判



○11月3日

「正井先生を偲ぶ会」に「地図情報」と正井泰夫先生～「地図情報」最近の執筆原稿から～を提供。

○11月15日

G空間EXPOシンポジウム「進化するタブレット地図」パネリスト



○11月23日

巡検・セミナー「近代民間地図発達史」開催 講師：辻野民雄、「川越巡検」開催 講師：伊藤等



○12月6日

見学会・巡検「第4回(株)中央ジオマチック見学と浮間の水塚散策」開催 (日本地図学会共催)

○12月7日

巡検「成増・赤塚巡検」開催 講師：伊藤等

○12月14日

五百澤智也前評議員逝去

○3月10日

常任理事会

○3月19日

理事会

□経営組織委員会

1月10日

□編集委員会

4月19日、6月11日、7月2日、9月6日、10月1日、11月12日、12月10日、1月21日

□行事委員会

4月26日、7月19日、10月11日、1月10日、3月25日

□事業委員会

4月19日、7月18日、10月25日、12月5日、2月27日

### 平成26(2014)年度

○4月5日

バス巡検「伊豆韮山方面」開催 講師：伊藤等



○5月30日

理事会 於帝国書院

○6月23日

理事会(決議の省略)

○6月23日

定時評議員会 於帝国書院

清水靖夫理事退任。藤本一美評議員退任・理事就任

○6月25日

公益目的支出計画を内閣府に提出

○8月6～7日

「日本地図学会」地図展出展 於東北大学片平キャンパス



○8月23日

「実践マップスキル研究会横浜大会」開催



○9月13日

セミナー「明治初期の隠された一つの地図作成史」「地図展」開催 於埼玉県立文書館 講師：井田浩三、黒澤達矢



○12月13日

第18回「多摩市身のまわりの環境地図作品展」後援



○12月20日

巡検「生麦・鶴見界限」開催 講師：伊藤等

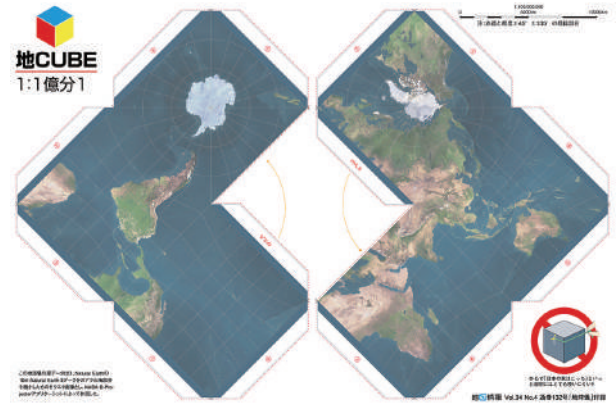
○1月29日

卓上カレンダー「日本の世界遺産」作成



○2月1日

地図情報132号「地球儀」の付録に立方体地球儀組立キット(1億分の1、一辺10cm)制作



○3月5日

常任理事会

○3月17日

理事会 於帝国書院

□経営組織委員会

1月27日

□編集委員会

4月1日、5月28日、7月7日、8月26日、10月7日、12月9日、1月13日、3月10日

□行事委員会

7月18日、10月17日、1月9日、3月24日

□事業委員会

5月15日、7月10日、9月24日、12月17日、2月13日

平成27(2015)年度

○4月1日

機関会員会費を6,000円に改訂。

○4月4日

巡検「水の道、鉄の道を尋ねて…武蔵境」開催

講師：紅露和夫



○6月2日

理事会 於帝国書院

○6月18日

定時評議員会 於帝国書院

○8月24日

「公益目的支出計画の実施が完了したことの確認書」(平成28年8月24日付)受領



○6月26日

防府市立国府中学校に「理事長賞」贈呈。



○8月6~7日

「日本地図学会」地図展 於 日本大学経済学部



○8月29日

「実線マップスキル研究会仙台大会」開催

○10月27日

評議員会(決議の省略) 杉山博幸理事退任、小宮正実理事就任

○11月3日

足立直樹評議員 旭日重光章受章

○11月7日

バス巡検「伊能忠敬ゆかりの佐原を訪ねて」開催 講師：鈴木純子



○11月13日

理事会(決議の省略) 小宮正実専務理事就任

○11月25日

事務局安達房枝退職、後任仲田延子

○12月12日

第19回「多摩市身のまわりの環境地図展」後援



○2月12日

卓上カレンダー「日本のジオパーク」制作



○2月20日

「中国地図測量史」と「文書館収蔵地図」開催 於 埼玉県立文書館 講師：今村遼平、増山聖子



○3月10日

常任理事会

○3月18日

理事会

□経営組織委員会

1月22日

□編集委員会

4月7日、6月10日、7月8日、9月4日、10月6日、12月14日、  
1月13日、3月11日

□行事委員会

7月10日、10月16日、1月15日、3月25日

□事業委員会

4月16日、7月16日、12月3日

### 平成28 (2016) 年度

○4月29日

星埜由尚理事 瑞宝中綬章受章

○5月27日

監事監査

○6月1日

理事会 於帝国書院

○6月11日

日本地図学会第204回例会「中国の地図の発達と世界観」開催 当財団と日本大学、地理学会との3団体共催。講師：今村遼平 於日本大学文学部

○6月16日

定時評議員会 於KKRホテル東京

滝沢由美子理事就任。大澤春雄、佐藤清、田部俊充各評議員就任。人見実、平山淳、滝沢由美子各評議員退任。中村和郎理事、細井將右理事退任。

○6月16日

理事会 於KKRホテル東京

滝沢由美子理事長就任、小宮正実専務理事就任。

○8月8～9日

「日本地図学会」地図展出展 於就実大学(岡山市)



○8月27日

「実践マップスキル研究会さいたま大会」開催

○10月24日

見学会「海上保安庁海の情報室」開催 於海上保安庁



○11月26日

巡検「秩父巡検」開催 講師：伊藤等、藤本一美



○12月10日

第20回「多摩市身のまわりの環境地図展」後援

20年にわたる協賛に対し多摩市より感謝状を受ける



◇3月

学習指導要領が改訂され、2022年度より高等学校での地理総合・歴史総合・公共が必修となった。

○3月5日

バス巡検「水戸徳川家の歴史を尋ねて」開催

講師：徳川斉正



○3月7日

常任理事会

○3月15日

理事会 於帝国書院

□経営組織委員会

1月23日

□編集委員会

4月12日、6月8日、7月6日、9月7日、10月12日、12月7日、

1月11日、3月8日

□行事委員会

7月8日、10月14日、1月13日、3月24日

□事業委員会

4月7日、7月14日、10月13日、12月16日

### 平成29 (2017) 年度

○5月26日

監事監査

○6月2日

理事会

○6月20日

定時評議員会 於帝国書院

鈴木厚志理事就任。荒井良雄評議員就任。鈴木厚志評議員退任。

○8月1日

「地図情報」付録に幸田露伴著『伊能忠敬』（博文館新社許諾・協力）。A5判  
提供：西川治



○8月8～10日

「日本地図学会」地図展出版 於慶応大学日吉キャンパス



○8月26日

「実践マップスキル研究会東京大会」開催



○11月11日

セミナー・巡検「近世日本図についての一私論」開催 於土浦市 講師：星埜由尚、伊藤等



○12月3日

第21回「多摩市身のまわりの環境地図展」後援



○2月26日

208の国と地域がわかる国際理解地図『DOOR』アジア、ヨーロッパ発行

○3月6日

常任理事会

○3月19日

理事会 於帝国書院

□経営組織委員会

1月23日

□編集委員会

4月12日、6月14日、7月5日、9月6日、10月11日、12月4日、1月10日、3月7日

□行事委員会

7月7日、10月13日、1月12日、3月30日

□事業委員会

4月27日、7月13日、12月21日

### 平成30 (2018) 年度

○4月21日

巡検「柴又と矢切の渡し」開催 講師：伊藤等



○5月28日

監事監査

○5月31日

理事会 於帝国書院

○6月22日

定時評議員会、理事会 於東京ガーデンパレス  
理事任期に伴う理事長、専務理事の選任

○8月

財団ホームページをSSL化

○8月24日

「実践マップスキル研究会川崎大会」開催



○8月27～29日

「日本地図学会」地図展 於富山大学



○10月15日

208の国と地域がわかる国際理解地図『DOOR』アフリカ発行

○12月2日

第22回「多摩市身のまわりの環境地図展」後援

○12月8日

セミナー・巡検「印刷博物館と小石川後楽園」開催

講師：伊藤等





○2月19日  
208の国と地域がわかる国際理解地図『DOOR』が日本地図学会「教育普及賞」受賞。

○2月20日  
208の国と地域がわかる国際理解地図『DOOR』北アメリカ、南アメリカ・オセアニア発行

○3月6日  
常任理事会

○3月18日  
理事会 於帝国書院

□経営組織委員会

1月22日

□編集委員会

4月9日、6月13日、7月9日、9月10日、10月3日、12月5日、1月9日、3月7日

□行事委員会

7月4日、10月19日、1月16日、3月27日

□事業委員会

5月17日、10月25日、12月21日

### 平成31・令和元(2019)年度

○4月

事務局小島岳彦就職

○4月16日

堀江元元評議員・元編集委員逝去

○5月25日

巡検「巖・川口界限」開催 講師：伊藤等、下中直人



○5月27日

監事監査

○6月3日

理事会 於帝国書院

○6月19日

定時評議員会 於帝国書院

新村明義評議員退任、加藤秀明評議員就任

○7月16~17日

「日本地図学会」地図展出版 於東京都産業技術センター

日本で約40年ぶりに第29回「国際地図学会議」が開催される。

○10月25日

評議員会(決議の省略) 理事・評議員定員の増員

○10月26日

藤本一美理事逝去

○11月2日

西川治顧問逝去

○11月15日

理事会(決議の省略)

○12月1日

第23回「多摩市身のまわりの環境地図展」後援





○12月14日

巡検「国立歴史民族博物館と城下町佐倉」開催 講師：伊藤等



○12月27日

「実践マップスキル研究会大阪大会」開催



◇1月25日

日本国内で初めて新型コロナウイルス (COVID-19) 感染者を確認。

○3月19日

理事会 於帝国書院

□経営組織委員会

1月21日

□編集委員会

4月3日、6月13日、7月4日、9月11日、10月1日、12月4日、1月8日

□行事委員会

7月3日、10月10日、1月9日

□事業委員会

12月16日

### 令和2 (2020) 年度

○6月2日

監事監査

○6月5日

理事会 (決議の省略)

○6月22日

定時評議員会、理事会 於東京ガーデンパレス

理事・評議員任期に伴う理事長、専務理事の選任

理事進藤誠就任(事務局長兼任)。監事鈴木純子退任、監事本田大作就任。評議員関口秀紀、評議員大澤春雄、評議員佐藤清退任、評議員緒方律郎、評議員岩田淳一、評議員新井洋行就任。定款9条、20条における定員の変更。コロナ禍で着席間隔を空けて開催。



○2月19日

田代博評議員逝去

○2月25日

帝国書院『地理統計』2021年版に国旗解説・国別資料で編集協力

○3月19日

理事会

○3月30日

井口悦男顧問逝去

□編集委員会

7月3日、9月9日、10月7日、12月2日、2月10日、3月11日

### 令和3 (2021) 年度

○4月1日

研究会会員費改訂。創刊以来40年目で初めての改訂となった。機関会員会費も改訂。

○5月6日

財団法人創立から40年。新型コロナの影響で40周年記念事業が延期となる。

○5月25日

監事監査

○5月26日

高橋裕顧問逝去

○6月2日

理事会 於東京ガーデンパレス

○6月22日

定時評議員会 於KKRホテル東京

今尾恵介評議員就任

○7月10日～8月29日  
伊能図上呈200年記念  
特別展「伊能忠敬」神  
戸市立博物館を後援。

○1月6日

船越昭生顧問逝去

○3月16日

理事会 於東京ガー  
デンパレス

□経営組織委員会

1月21日

□編集委員会

4月7日、6月9日、7月9日、9月8日、10月6日、12月8日、  
1月8日、3月9日

□行事委員会

12月10日、3月25日



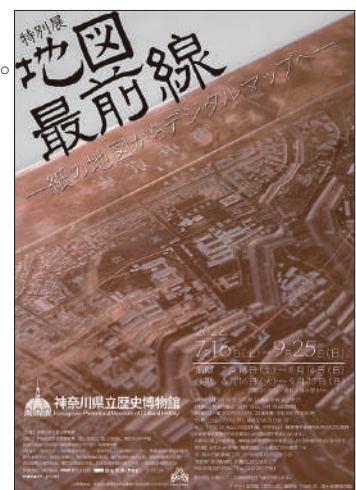
新井洋行評議員退任、  
守屋智央評議員就任。  
事務局小島岳彦退職

○7月16日～9月25日

特別展「地図最前線—  
紙の地図からデジタル  
マップへ—」神奈川県  
立歴史博物館を後援。

○8月6～7日

「日本地図学会」地図  
展 出展 於日本大学  
経済学部



#### 令和4 (2022) 年度

○4月6日

『地理トレ 地理クイズ  
大全』発行

○5月26日

監事監査

○6月1日

理事会

○6月10日

中村和郎前理事長・  
顧問逝去

○6月20日

定時評議員会、理事  
会 於東京ガーデンパレス



○10月

森田喬理事 フランス芸術文化勲章受章

○11月30日

「一般財団法人地図情報センター 10周年 財団法人設  
立41周年 記念の会」開催

□編集委員会

4月6日、6月20日、7月6日、9月7日

□行事委員会

7月1日

□事業委員会

5月23日









# 地図学博物館構想

## 地図の博物館をつくらう

任意団体「国際地図情報センター」が発足当時から地図の博物館のテーマは関係者の間で強い関心事であり、同時に念願でもあった。具体的にはまだ茫漠たる前途であったが、旧『地図情報』に掲載された座談会「地図の博物館をめぐる」(出席:梅棹忠夫、小松左京、杉浦康平、下中邦彦、下中直也、栃折多喜郎)では「地図博物館」を目標とし、博物館は知的活動である。ハードと人による「知的生産基地」であり、博物館は存在するものを見せるところでなく、見せるものを持ってくる場所である。博物館は機能であり、組織であり、活動である。大衆教育機関であり娯楽機関でもある。(梅棹)などと語られている。

このような観点でみると、一例として、平成8年から開催され当財団も後援している東京都多摩市で開催の「身のまわりの環境地図作品展」(発足時の委員長 西川治元理事)は、地元の小中学生が参加して、児童生徒が自ら歩いて調査し地図を作成、発表し、展示会では児童父母ともども多数来場し、大変明るい雰囲気での展示となっていて、教科書でみる以上の活きた学習となっている。

## 博物館具体化に向けた動きと日本学術会議

当時まず具体的に博物館を受け入れる場所探しに佐々保雄理事とあちこち回り、同年8月には講談社服部敏幸会長が今里広記氏を訪ねて、東京湾13号埋立地が浮かび上がった。同年10月西川理事と「地図情報科学館の概要」と題する要望書を東京都港湾局に提出し、さらに昭和59年12月には13号地を想定した「地図文化博物館設立構想案」を提出した。昭和61年8月には和達理事長の招集で第1回の「地図博物館設立連絡会」が開催され、博物館推進運動も新しい段階を迎えることになった。

同年12月鈴木俊一東京都知事に「国際地域情報センター」設立要望書を提出し、さらに昭和62年6月、東京都へ東京国際フォーラム室内に「国際地図情報センター」創設の要望書を提出した。

これらの動きと並行し西川治理事が推進していた「国立地図学博物館」(仮称)の設立についての勧告が昭和63年4月21日に日本学術会議第104回総会で採択され、関係各会の注目するところとなった。



「国立地図学博物館」の勧告採択を機に愛知県犬山市が誘致に乗り出し、平成2年3月には「国立地図学博物館誘致構想」の策定成果を犬山市に提出し、平成2年10月には地図展「地図で見る犬山と世界」を犬山市で実施した。

## 経済状況の変化と地図研究、博物館の誕生

その後、さまざまな形で財団関係者によって運動は続けられてきたが、日本経済の変転と国立という条件もあり、当初のかたちの設立は困難となった。しかし平成11年9月、この構想の一部を継続するものとして、東京大学空間情報科学技術センターが発足した。同センターのほか、国土地理院の「地図と測量の科学館」、岐阜県図書館「世界分布図センター」、(株)ゼンリンの「地図の資料館」など、地図を研究する機関や地図を展示する博物館などが設立されている。

## 新しい時代の博物館構想

当財団の目指した「地図の博物館」は未だ実現していないが、実際の博物館ではなく、仮想空間上で、世界のどこからもアクセスできるメタバース上の博物館など、ITCやVR、AR環境も含めた「地図の博物館」構想はまだ始まったばかりである。

(本文は2007年の久田龍二理事による「『地図の博物館』推進構想をめぐる」を加筆・要約したものである。)

機関誌「地図情報」は一貫して地図や地理に関わる様々な知識や話題を特集形式で提供してきた。

任意団体時代の「地図情報」は変更地物(鉄道・道路・建築物など)を灰色の地形図上に朱描き(2色)印刷しており、現在の「地域情報ニュース」に近いものである。

財団発足後は創刊号から100号まではB5判で、表紙・裏表紙がカラー、本文がモノクロであった。

101号からは判型もA4判となり、文字もそれまでよりサイズアップされている。誌面もオールカラーとなり、地図や図版もより大きく掲載できるようになった。時代に先駆けて電子編集(DTP)も取り入れている。

近年、地図を取り巻く環境は様変わりした。「地図情報」は紙地図文化にも、電子地図時代にも対応した編集方針をこれからも継続していく。

1981(昭和56)年度



1号



2号



1994年3月25日の編集会議風景 於日本弘道会館  
左から、久田、堀江、貝山、清水、式(編集委員長)、細井

1982(昭和57)年度



3号



国の基本図 2万5千分の1 (4号)



鳥瞰図(5号)



都市の地図(6号)

1983(昭和58)年度



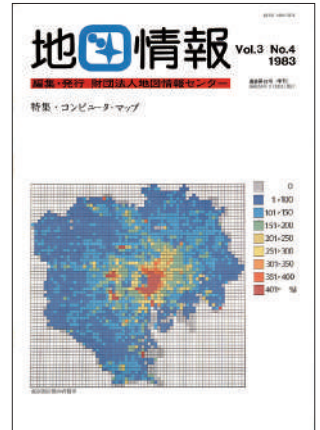
極地方の地図(7号)



道路地図(8号)



教育用地図帳(9号)



コンピュータ・マップ(10号)

1984 (昭和59) 年度



海図(11号)



都市の生活地図(12号)



地球儀(13号)



大縮尺地図(14号)

1985 (昭和60) 年度



火災地図(15号)



疾病地図(16号)



掛地図・壁地図(17号)



レリーフマップと地形模型(18号)

1986 (昭和61) 年度



日本の観光地図(19号)



地震地図(20号)



地図博物館(21号)



古地図によむ(22号)

1987 (昭和62) 年度



都市アトラス(23号)



地理教育と地図(24号)



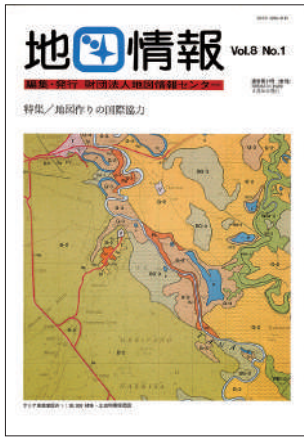
企業と地図(25号)



戦前の地図・戦後の地図(26号)



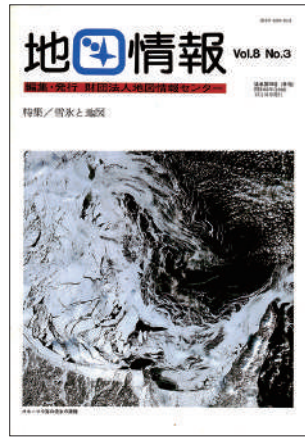
1988(昭和63)年度



地図作りの国際協力(27号)



環境と地図(28号)



雪氷と地図(29号)



手作りの地図(30号)

1989(平成元)年度



火災地図(31号)



地図をめぐる地名(32号)

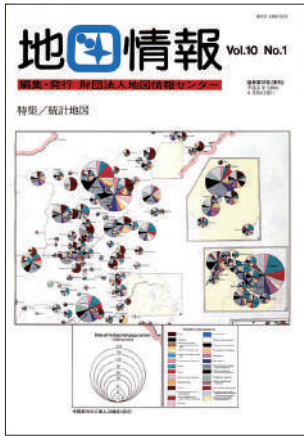


アメリカの地図(33号)



遺跡と地図(34号)

1990(平成2)年度



統計地図(35号)



気象・気候の地図(36号)

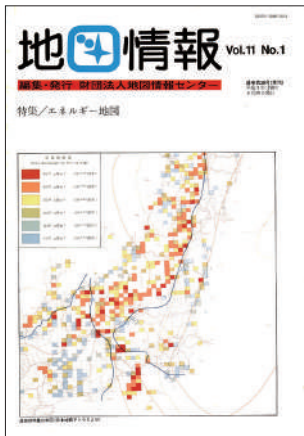


スキー・登山の地図(37号)

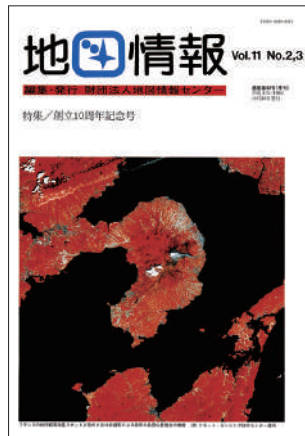


環境と地図(38号)

1991(平成3)年度



エネルギー地図(39号)



創立10周年記念号(40号)



飛行場の地図(41号)

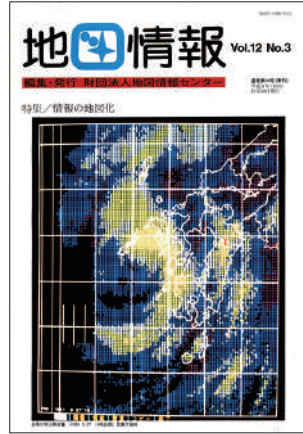
1992 (平成4) 年度



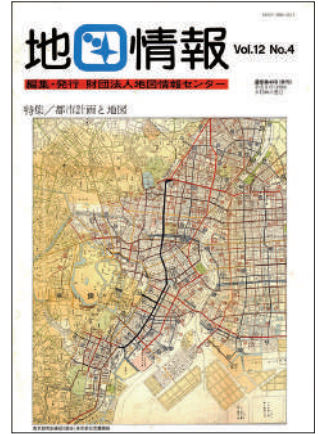
城と城下町の地図(42号)



港湾の地図(43号)



情報の地図化(44号)



都市計画と地図(45号)

1993 (平成5) 年度



江戸の地図(46号)



ドイツの地図(47号)



宗教と地図(48号)



鉄道と地図(49号)

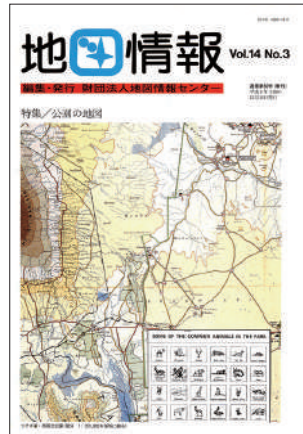
1994 (平成6) 年度



生物の地図(50号)



中国の地図(51号)



公園の地図(52号)



京都の地図(53号)

1995 (平成7) 年度



河川の地図(54号)



電子地図(55号)

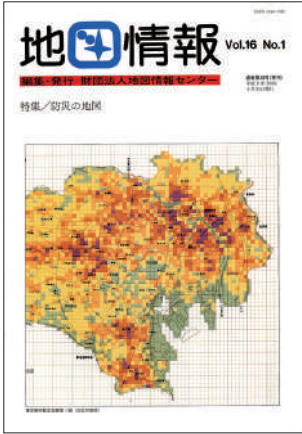


スペインの地図(56号)



島の地図(57号)

1996 (平成8) 年度



防災の地図(58号)



ラテンアメリカの地図(59号)

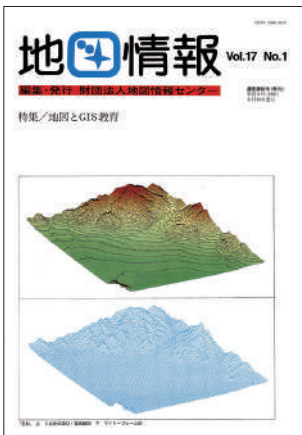


琵琶湖と地図(60号)



ロードマップ(61号)

1997 (平成9) 年度



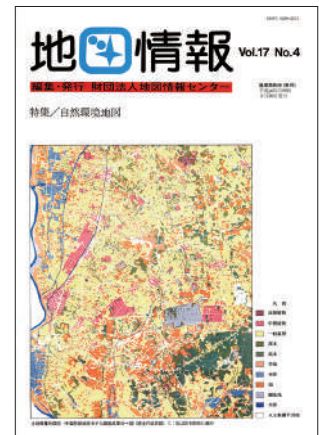
地図とGIS教育(62号)



海の地図(63号)

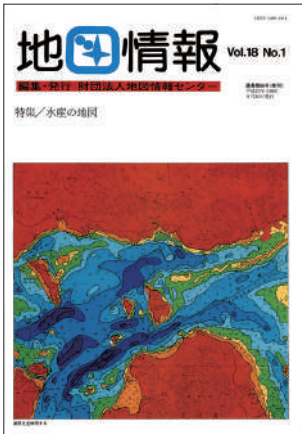


わが校における地図の生かし方(64号)



自然環境地図(65号)

1998 (平成10) 年度



水産の地図(55号)



温泉の地図(67号)



森林の地図(68号)



街道の地図(69号)

1999 (平成11) 年度



ニュータウンの地図(70号)



海峡の地図(71号)



地図と土地利用(72号)



カナダの地図(73号)

2000(平成12)年度



図書館・博物館の地図(74号)



火山と地図(75号)



大学所蔵の地図(76号)



開港場の地図(77号)

2001(平成13)年度



創立20周年記念号(78号)



新都心と地図(79号)



文書館所蔵の地図(80号)

2002(平成14)年度



ダム湖と溜池の地図(81号)



フランスの地図(82号)



坂道と階段の地図(83号)



国・公立博物館所蔵の地図(84号)

2003(平成15)年度



北海道の地図(85号)



日本海の地図(86号)



橋と地図(87号)



路面電車と地図(88号)

2004(平成16)年度



治水の地図(89号)



地図関連の定期刊行物(90号)



台湾地域の地図事情(91号)



博覧会・オリンピックと地図(92号)

2005(平成17)年度



市町村合併と地図(93号)



デジタルマップ(94号)

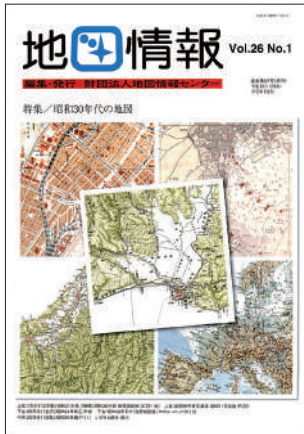


外邦図(95号)



神田の地図(96号)

2006(平成18)年度



昭和30年代の地図(97号)



地図記号から見る世界(98号)



創立25周年記念号(99号)



(財)地図情報センター25年間のあゆみ(100号)

# 地図情報 総目次

101号～ A4判(掲載順、敬称略 お知らせ・受贈図書・資料室、一部の付録は不記載)

## 交通路の変遷と地図

101号 2007(平成19)年度 Vol.27 No.1

### 巻頭随筆

交通の変化を地図に表現する

青木栄一

### 特集 交通路の変遷と地図

サンゴ礁とエスチュアリーのはざまに発達した港市・那覇  
地勢図でみる筑豊の交通路の変遷について

渡久地健

備讃瀬戸における本州四国間交通路の変遷と地域の変化

黒木貴一

親不知子不知海岸の道路交通の今昔

井村博宣

白河の関跡付近の交通路変遷

柳沢幸也

津軽海峡の交通路の変遷－函館港の果たした役割を中心として

山縣重信

中村 剛

### 文献紹介

山と氷河の図譜－五百澤智也山岳図集

正井泰夫

近世日本の地図と測量－村と「廻り検地」－

石山 洋

京都の地名 検証2

水谷一彦

地図物語 あの日の浅草

清水靖夫

### 巡検報告

小田原巡検に参加して

内藤博夫

横須賀巡検に参加して

今井健三

### 解説等

表紙・裏表紙解説

清水靖夫

## 用水と地図

102号 Vol.27 No.2

### 巻頭随筆

用水とその影響

高橋 裕

### 特集 用水と地図

香川用水と地図

新見 治

滋賀・大津側からみた琵琶湖疏水

小原文明

辰巳用水とダム計画－地域の歴史と伝統－

山本光利

愛知用水・豊川用水・明治用水

山野明男

玉川上水－都市化と水利利用の変遷－

谷口智雅

安積疏水

高田 衛

### 文献紹介

地図に訊け!

久田龍二

地名を歩く 奄美・沖縄の人・神・自然

今尾恵介

「地図」が語る日本の歴史

清水靖夫

### 解説等

表紙解説

清水靖夫

裏表紙解説

久田龍二



巻頭随筆

「郷土」の地図を作る学習

中村和郎

特集 学校教育における郷土学習と地図

福島県の郷土学習－会津漆器業を例として－

高野弘道

東京の郷土学習－荒川区を例として－

上野和彦

新潟県上越地方の「郷土・身近な地域」学習にみる地図活用

志村 喬

愛知県の郷土学習と地図

寺本 潔

京都における郷土学習のあり方と可能性

天野太郎

広島県の郷土学習と地図学習

湯浅清治

特別寄稿

報告／ロシア地図学代表作展

細井將右

文献紹介

地図で暮らしを読む 東京の昭和

清水靖夫

現地の人がすすめる! 北京・上海

清水康厚

資料室番外編

地図情報センター

解説等

「諏訪郡地図」と解説

清水靖夫

表紙解説

小林和子



巻頭随筆

町並み保存に想う

金坂清則

特集 町並み保存と地図

弘前市仲町伝統的建造物群保存地区

神 秀憲

川越重要伝統的建造物群保存地区

西田 守

香取市佐原伝統的建造物群保存地区

香取市都市計画課

金沢市ひがし茶屋街

川上光彦

隠された八幡堀

濱崎一志

竹原市町並み保存地区の形成について

下山千賀子

塩飽笠島の町並み形成と人々の活動

齊藤圭一

「町並み保存に想う」付図

金坂清則・水谷一彦

文献紹介

地図を読む

正井泰夫

知って楽しい地図の話

内藤博夫

世界の地図を旅しよう

清水靖夫

解説等

表紙解説

編集部



## 巻頭随筆

中国の地図事情に思う

石原 潤

## 特集 今日の中国の地図事情

中国のアトラス

秋山元秀

中国の地理教科書・地図帳

金 玉実

中国の山岳地図

岩田修二

中国の数値地図

柴田健一

中国の観光地図

池上正治

## 文献紹介

もっと知りたい日本と世界のすがた

正井泰夫

宇宙から地球を観る

伊藤 等

世界早わかり地図

編集部

中国自然地理図集

細井將右

## 巡検報告

「池上昭和レトロ巡検」に参加して

喜多昭一

「青梅巡検」に参加して

根岸正光

## 解説等

表紙解説

柴田健一

裏表紙解説

小林紅子



## 湾の地図

## 106号 Vol.28 No.2

## 巻頭随筆

湾の地図に思う

今井健三

## 特集 湾の地図

鹿児島湾－地形とその由来－

森脇 広

富山湾

石森繁樹

駿河湾の海底地形と海の地図

八島邦夫

東京湾の海上交通

田丸人意

海図が示す松島湾の沈水過程

松本秀明

新装開店の「ウオッチーズ」と航海用海図で湾入を巡る

伊藤 等

## 文献紹介

GISと空間認知－進化する地図の科学－

財城真寿美

地図を楽しもう

清水靖夫

ため池－その多面的機能と活用－

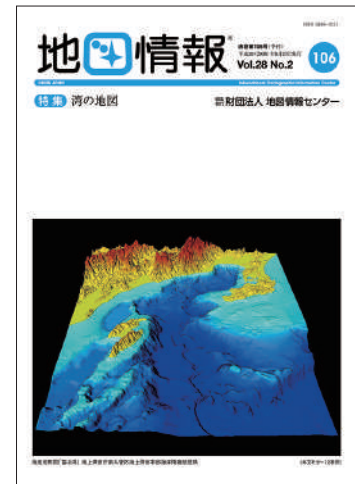
細井將右

現代世界を斬る! ジャーナリスティックな地図

清水康厚

## 解説等

裏表紙解説





小笠原諸島の地図

107号 Vol.28 No.3

巻頭随筆

「骨島」と「沈水カルスト地形」:二つの40年に思う

堀 信行

特集 小笠原諸島の地図

小笠原諸島の地図

清水靖夫

コラム:マボロシの「中ノ鳥島」

清水靖夫

小笠原諸島の地形と地質

荻谷愛彦

小笠原諸島の気候

飯島慈裕

小笠原諸島の植物相と植生

吉田圭一郎

小笠原諸島の海図

今井健三

「だいち」が撮影した小笠原諸島

鈴木明子

文献紹介

多摩の鉄道沿線 古今御案内

久田龍二

ベーシックアトラス 中国地図帳

井口悦男

巡検報告

「視察船・新東京丸で巡る東京港」に参加して

鶴飼幸雄

解説等

裏表紙解説

清水靖夫



門前町の地図

108号 Vol.28 No.4

巻頭随筆

門前町のにぎわい

千田 稔

特集 門前町の地図

絵図にみる江戸時代の太宰府天満宮門前町

梶嶋政司

金毘羅五街道

佐藤安正

天理教の門前町とその現状

角 克明

鳥居前町 伊勢

阿形次基

善光寺の門前町 長野

浅野純一郎

鹽竈神社の門前町 塩竈

斎藤善之

特別寄稿

わが国の小中学生の地理的分野に関する学習・知識の程度について

-平成19年1月、2月に実施された「特定の課題に関する調査」の結果から- 秦 明夫

文献紹介

地図で読み解く 日本の地域変貌

松宮正樹

地図 MAP(中国の一般向け地図雑誌)

細井將右

地図物語 あの日の神田・神保町あの日の新宿

清水靖夫

巡検報告

「草加巡検」に参加して

野中謙一

解説等

表紙解説

藤本一美



巻頭随筆

横浜開港

阿部正道

特集 横浜の地図

開港時の横浜

石川勇喜

関東大震災直後の横浜

馬淵宣充

戦後占領時の横浜

本間利夫

中華街の今昔

小林一彦

みなとみらい21

高橋和男

4回移動した横浜の鉄道玄関口

井口悦男

海図から見た横浜港

上林孝史

文献紹介

探Q! 日本のひみつ-まちでみつけた日本のきせつ

豆田啓二

風土紀行-地域の特性と地形環境の変化を探る

細井将右

鉄道の地理学

正井泰夫

Discovering JAPAN A New Regional Geography

正井泰夫

東京懐かし散歩、地図から消えた東京物語

清水靖夫



巻頭随筆

鳥か、人間か

高橋 裕

特集 ラムサール条約登録湿地の地図

釧路湿原

大西英一

尾瀬

谷本丈夫

谷津干潟 - 東京湾最奥部に残されたバードサンクチュアリー

橋詰直道

三方五湖 - 淡水・汽水・塩水と水質が異なる五つの湖

田辺常博

秋吉台の地下水系

配川武彦

さまよえるマングローブ湿地「アンバル」の過去と未来

谷寄樹生

特別寄稿

追想:田中薫と渡辺光による昭和初期のアメリカの旅

正井泰夫

文献紹介

地図でみる 西日本の古代

三好唯義

江戸・東京地形学散歩

角田清美

巡検報告

「羽田(旧漁村)界限巡検」に参加して

阪口陽子

解説等

表紙解説

清水靖夫

裏表紙解説

水谷一彦



## 世界の高山と地図

111号 Vol.29 No.3

### 巻頭随筆

私の山の地図作り

五百澤智也

### 特集 世界の高山と地図

ヒマラヤ山脈と世界最高峰の地図

岩田修二

ニュージーランドの高山と地図

小疇 尚

キリマンジャロとケニア山

水野一晴

地形図と共にとどるマッターホルンへの道

高橋伸幸

北アメリカの高山と地図

小林 詢・永峯隆夫

アンデス山脈

安仁屋政武

### 文献紹介

近代日本の地図作製とアジア太平洋地域

正井泰夫

食の地図

滝沢由美子

### 解説等

表紙解説

五百澤智也



## ハイウェイと地図

112号 Vol.29 No.4

### 巻頭随筆

地図と高速道路

井上啓一

### 特集 ハイウェイと地図

日本の高速道路の変遷

久田龍二

高速道路と地図のかかわり

片山道夫

クルマの渋滞について

西成活裕

道路交通所要時間情報の視覚化

井上 亮

地図で眺める欧米の高速道路

今尾恵介

### 新連載 地図案

読図のヒント I - 地図の詳しさ - 縮尺のこと

清水靖夫

読図のヒント II - 地球は丸いが地図は平面 - 図法あれこれ①

清水靖夫

### 文献紹介

PETERMANN'S PLANET

細井將右

世界大地図

清水康厚

地図読み人になろう

清水靖夫

日本の公文書

清水靖夫

地盤災害離島に吹くあたらしい風 還暦後の悦生集

今日はなんの日、富士山の日

編集部

### 巡検・見学会・セミナー

「横川・坂本宿巡検」に参加して

守屋直美

「横浜・みなとみらい地区巡検」に参加して

清水康厚

### 解説等

表紙解説

久田龍二



巻頭随筆

巨大都市 上海

正井泰夫

特集 変貌する都市・上海

上海の歴史変遷と都市計画

孫 安石

地図の場所 上海

木之内誠

上海と日本

高網博文

上海の租界と在華紡の地図

富井正憲

上海の商業街区とグルメ文化

岩間一弘

上海百貨店エリアの移り変わり

菊池敏夫

中華民国期上海における盛り場の変遷－八仙橋を中心に

森平崇文

1920－40年代上海の文学地図

中村みどり

外邦図にみる魔都上海のいまむかし

山本健太

文献紹介

ビジュアル版 地図の歴史

金澤 敬

地図楽

読図のヒントⅢ－四角い世界地図－図法あれこれ②

清水靖夫

付録

「上海地図」(解説)

清水靖夫



巻頭随筆

奈良の地図－二つの空白部－

千田 稔

特集 奈良・いま ふたたび

木簡と平城宮大極殿

市 大樹

平城京を紙の上に建つ－北浦定政の絵図－

岩本次郎

東大寺山堺四至図

大宮守友

奈良盆地の条里と古道

伊藤寿和

絵図・地図で見る奈良の街

内田忠賢

奈良盆地の鉄道いまむかし

三木理史

歴史都市奈良の観光と地図

小松原尚

壮大な平城京がよみがえる 平城遷都1300年祭

宮川享子

地図楽

紙の地形図をじっくり眺めてみよう 第1回

伊藤 等

海の地図を教材にしよう①－日本列島を取り巻く海のかたち－

今井健三

文献紹介

図説 鉄道パノラマ地図

井口悦男

古地図でたどる 鉄道の知恵 線路の不思議

清水康厚

地名の発生と機能－日本海地名の研究－

今井健三

巡検報告

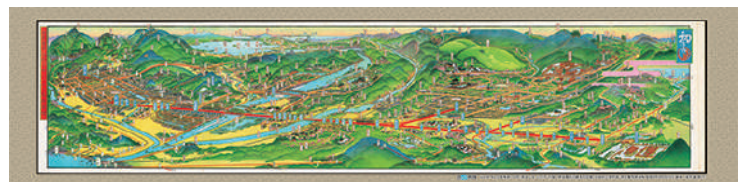
「船橋巡検」に参加して

清水あゆ美

付録

「奈良電気沿線名所図絵」(解説)

藤本一美



巻頭随筆

教育のためのデジタル地図利用

森田 喬

特集 教育のためのデジタル地図利用

小学校におけるインターネット地図の利用

中山正則

新しいWeb時代の地図教育

太田 弘

高等学校におけるデジタルマップ利用

田代 博

大学における地図を用いた地理学実習・GIS実習

矢野桂司

地理学教育現場におけるインターネット地図利用

鈴木厚志

地図楽

読図のヒントⅣ－形が良いのは中央部－図法あれこれ③

清水靖夫

紙の地形図をじっくり眺めてみよう 第2回 地形図の読図は“等高線”

伊藤 等

海の地図を教材にしよう②－港湾の機能を海図から読図する－

今井健三

コラム

人名が地域に根を下ろす－初花ノ滝

式 正英

文献紹介

地図の読み方・歩き方－標高0メートルから山岳まで－

清水靖夫

地図・場所・記憶－地域資料としての地図をめぐって－

水谷一彦

たのしく学べる・遊んでおぼえる！ 都道府県かるた

中山正則

松本清張地図帖

浅江季典

紙碑

梅棹忠夫先生を偲んで

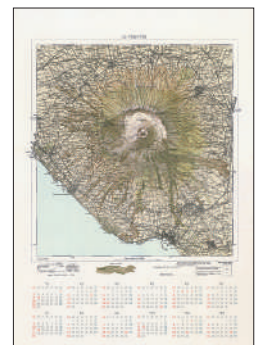
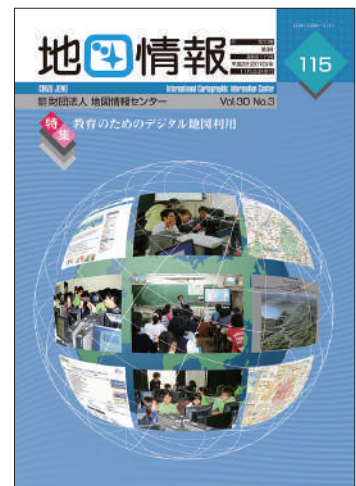
下中直也

西村蹊二理事の逝去を悼む

細井將右

付録

「2011年地図カレンダー IL VESUVIO」



巻頭随筆

境界と地図

今尾恵介

特集 境界と地図

日本のいろいろな境界線

浅井建爾

世界の境界線

高木彰彦

海の境界線と地図

八島邦夫

宗教と境界－飯豊山・鳥海山・蔵王山を事例として

岩鼻通明

空の境界

太田 弘

地図楽

読図のヒントⅤ－数縮尺と線縮尺－

清水靖夫

紙の地形図をじっくり眺めてみよう 第3回 記号をあれこれ詮索してみる

伊藤 等

海の地図を教材にしよう③－沿岸漁業の地域性を水路特殊図から読図する－

今井健三

文献紹介

地図の科学

齊藤忠光

最新版 2万5000分の1地図

清水靖夫

日本を旅する 大旅行地図帳

矢延洋泰

地球診断

小口 高

巡検報告

「迅速測図と東京スカイツリー」に参加して

紅露和夫

「古河巡検」に参加して

進藤 誠

付録

「大戦下の最新世界地図」(解説)

清水靖夫



巻頭随筆

国際化時代の外国地名表記 正井泰夫

特集 地図帳の外国地名表記

学校用地図帳での外国の地名表記 福田行高  
 学校地図帳における外国地名の表記 杉山博幸  
 外国地名、特に中国地名についての高校現場の声 田代 博  
 外国地名の日本語表記の難しさ 堀江 元  
 日本海の呼称 谷治正孝

地図楽

読図のヒントⅥ-子午線- 清水靖夫  
 紙の地形図をじっくり眺めてみよう 第4回 際物的地名の研究 伊藤 等  
 海の地図を教材に使う④

- 海の資源や環境と海底地形との関係を海図や海底地形図から読図する - 今井健三  
 三好唯義

古地図を旅するⅠ

文献紹介

くらべる地図帳 松島紘子  
 東京今昔 歩く地図帖 田中友也  
 消えた駅名 - 駅名改称に隠された謎と秘密 赤田雅則  
 長崎を識らずして江戸を語るなかれ 齊藤忠光

付録

「日露清韓新地図」(解説) 清水靖夫



巻頭随筆

東日本大震災と地図情報 中村和郎

特集 東日本大震災の地図情報

地図を見て、こんなに悲しい思いをしたことは、これまでなかった。  
 - 東日本大震災における大津波被害 - 平井史生  
 東北地方太平洋沖地震と海底地形の変化 八島邦夫  
 東日本大震災にともなう変位地形-いわき市南部に出現した活断層と地すべり- 八木浩司・佐藤 剛・宮城豊彦・梅村 順

緊急撮影画像の配信とクラウドソーシングによる被災情報の三次元判読 本間亮平  
 原子力施設事故による風評被害 熊谷 明  
 埼玉県久喜市“南栗橋”を歩く 伊藤 等

地図楽

読図のヒントⅦ-子午線2- 清水靖夫  
 紙の地形図をじっくり眺めてみよう 第5回 旧版地形図を並べてみる 伊藤 等  
 古地図を旅するⅡ 三好唯義

文献紹介

パノラマ鳥瞰地図帳 藤本一美  
 藤村の旅路 正井泰夫  
 地図で読む戦争の時代 清水靖夫

コラム

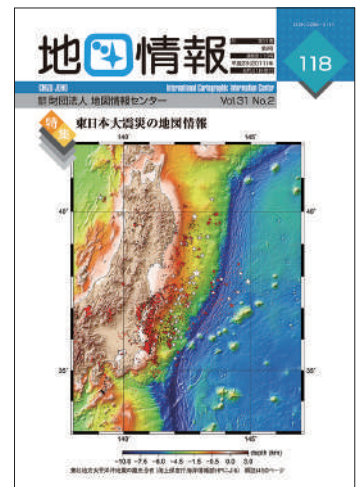
19世紀末の日本図 “MAP OF JAPAN FOR TOURISTS” 式 正英

解説等

表紙・裏表紙解説 八島邦夫

付録

「英帝國世界領土略取史圖」(解説) 田代 博



巻頭随筆

書けなかった天気図から

中村和郎

特集 天気図は空の地図

天気図の歴史

山川修治

世界の天気図

山川修治

登山と天気図

和田光明

天気図・天気情報を利用する企業の実際

常盤勝美

日本開国期の天気図

財城真寿美

大雨災害と天気図

平井史生

学校気象観測から分かる武蔵野の都市気候変化

宮下 敦

地図案

読図のヒントⅧ－陸上の高さ－海拔－

清水靖夫

紙の地形図をじっくり眺めてみよう 第6回 新旧の地図

伊藤 等

古地図を旅するⅢ 西洋製世界地図を屏風に描く

三好唯義

海図をもっと知ろう①－海図の水深について－

今井健三

文献紹介

絵図学入門

久田龍二

地図で読む ビジュアル 日本史

齊藤忠光

地図から消えた島々

今井健三

「春の小川」はなぜ消えたか

山岡光治

「富士見」の謎

藤本一美

全国鉄道旅行繪圖

原田康介

コラム

環境地図「おだわらグリーンマップ」の紹介

式 正英

解説等

表紙・裏表紙解説

財城真寿美



巻頭随筆

これからの日本の基本図

星埜由尚

特集 「電子国土基本図」とは何か

地形図とは

清水靖夫

「電子国土基本図」とは

国土地理院基本図情報部管理課

地図・地理学習で活用できる地形図と「電子国土基本図」の姿

志村 喬

登山・アウトドアの立場から「電子国土基本図」への移行を考える

村越 真

「電子国土基本図」－利用者の立場から考えること

芳賀 啓

「電子国土基本図」の図式の問題点

今尾恵介

「電子国土基本図」の問題点－ユーザーの立場から

田代 博

地図案

読図のヒントⅨ 陸上の地形－等高線とケバー

清水靖夫

紙の地形図をじっくり眺めてみよう 第7回 生き残った「ウオッチーズ」を眺めてみる

伊藤 等

古地図を旅するⅣ 江戸時代以前の日本図＝行基図

三好唯義

海図をもっと知ろう②－海図とメルカトル図法について－

今井健三

文献紹介

日本の居場所がよくわかる 東アジア地図帳

新井教之

東日本大震災 津波詳細地図(上・下)

前島勝憲

鉄道ひとり旅入門

原田康介

外邦図－帝国日本のアジア地図

清水靖夫

地図投影法－地理空間情報の技法

田代 博

アーカイブズが社会を変える－公文書管理法と情報革命

清水靖夫

コラム

地形図類の地図投影はどう変わったか

金澤 敬

巡検・見学会・セミナー

「日本一小さな市 埼玉県蕨市巡検」に参加して

井田浩三

解説等

裏表紙+付録「大日本國全圖」解説

清水靖夫

付録

「大日本國全圖」



巻頭随筆

東京 正井泰夫

特集 “地図と地形”で歩く東京

地理巡検で注目したい東京の地形 加賀美雅弘  
 隅田川を中に、西の台地・東の低地を走る鉄道 井口悦男  
 東京のさんぽ道 楠本 勝  
 江戸の町づくりと寺社 赤岩州五  
 東京・江戸の鳥瞰図の世界－付録「大東京鳥瞰図」を中心に－ 藤本一美

地図楽

読図のヒント X 地図の中の文字 清水靖夫  
 紙の地形図をじっくり眺めてみよう 第8回 0メートルの等高線 伊藤 等  
 古地図を旅する V 壁掛け地図 三好唯義  
 海図をもっと知ろう③－海上の交通ルールと海図記号－ 今井健三

文献紹介

地図と愉しむ東京歴史散歩 石山 洋  
 日本地図史 齋藤 義司  
 鷹見泉石 オランダ名 ヤン・ヘンドリック・ダッブルを名のった武士 水谷一彦

コラム

ウメサオタダオ展－未来を探検する知の道具－ 正井泰夫

巡検・見学会・セミナー

「人形と旧跡の町 岩槻」巡検に参加して 谷治正孝

解説等

表紙解説 藤本一美

付録

「大東京鳥瞰図」(石川真琴作画)



巻頭随筆

子ども達が描く“心のハザードマップ” 次山信男

特集 ハザードマップ

ハザードマップとは 熊木洋太  
 関東地方のハザードマップ～液化化現象を例として～ 伊藤 等  
 東京の主な区のハザードマップ 芳賀 啓  
 火山災害とハザードマップ 伊藤英之  
 小学校における防災マップ(ハザードマップ)の活用 中山正則  
 －防災教育の視点から、緊急地震速報の学習と関連づけて－

地図楽

読図のヒント XI 仮製版の地形図 清水靖夫  
 紙の地形図をじっくり眺めてみよう 第9回 凡号水準点を探しに出掛ける 伊藤 等  
 古地図を旅する VI 石川流宣の日本図 三好唯義  
 海図をもっと知ろう④ 読図とチャートワークのための基礎知識 今井健三

文献紹介

花を楽しむ地図 本荘暁子  
 描かれた高知市－高知市史 絵図地図編 清水靖夫  
 水の東京を歩く 滝沢由美子

コラム

房総白浜を歩く 式 正英

紙碑

下中直也元理事長を悼む 久田龍二

解説等

表紙・裏表紙解説 芳賀 啓

付録

「THE PORT OF LONDON」





巻頭随筆

「南の島々への憧憬」の深層を考える

堀 信行

特集 遠くて近い南太平洋の国々

遠くて近い国、ミクロネシア連邦

板場敦子

南洋群島サイパン島および旧米領グアム島の日本軍作成地図について

樋口和佳子

南洋庁での気象観測の歴史

久保田尚之

現代社会を生き抜いたたかな海洋民たち

黒崎岳大

マーシャル諸島の人々の過去・現在・未来

西村弘人

卒業生なきパラオ中学校ーパラオでの日々

藤本一美

太平洋諸国の地図切手から

地図楽

読図のヒントⅦ 二十万分の一帝国図は「えんざんしょく」

清水靖夫

紙の地形図をじっくり眺めてみよう

伊藤 等

第10回 鉄道に纏わる“蘊蓄”を地図上で検証してみる

三好唯義

古地図を旅するⅦ 対外危機と世界地図(高橋景保「新訂万国全図」1810年)

文献紹介

新々・日本列島地図の旅

田代 博

世界の「富士山」

藤本一美

ワイドアトラス・世界地図帳／日本地図帳

矢延洋泰

デジタル鳥瞰 江戸の崖 東京の崖

長岡正利

巡検・見学会・セミナー

夏のセミナー「海図教室と海洋情報部見学」に参加して

栗田好明

解説等

表紙・裏表紙・付録解説

清水靖夫

付録

大東亞南方圏地圖帖藤田元春著(日本統制地圖株式会社 昭和19年4月発行)

のうち「第十二圖太平洋諸島圖」



巻頭随筆

地形図数値化の流れと紙地形図

大竹一彦

特集 地形図 再考

紙の地形図を残すー制作の立場にあった者のかんがえていること

やまおかみつはる

紙の地形図を残すーユーザーの立場から考えること

今尾恵介

電子国土基本図の今

田代 博

海図ー紙海図と電子海図について考える

今井健三

コラム

「海図の黄金時代」L' ÂGE D' OR DES CARTES MARINES 地図展と同図録

細井將右

地図楽

読図のヒントⅩⅢ 美しかったコロタイプ印刷

清水靖夫

紙の地形図をじっくり眺めてみよう

伊藤 等

第11回 現地視察に行ってきました「岩手県宮古市田老地区」

三好唯義

古地図を旅するⅧ 初の実測日本全図(伊能忠敬大日本沿海輿地全図1821年)

文献紹介

地図で見る 西日本の古代、地図で見る 東日本の古代

芳賀 啓

地図教材を作って半世紀ー掛地図と地球儀の世界ー

齊藤忠光

地図で読む昭和の日本=定点観測でたどる街の風景=

清水靖夫

巡検・見学会・セミナー

猿橋巡検に参加して

紅露和夫

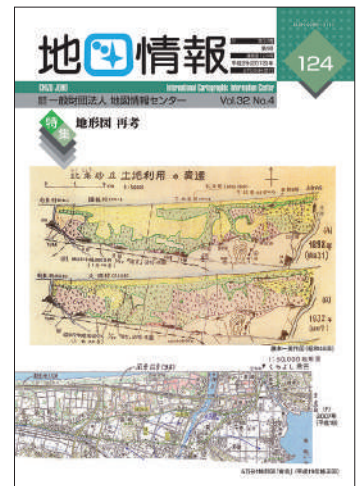
解説等

表紙・裏表紙・付録解説

藤本一美

付録

「日本周遊一覽 日本景勝三百図絵」金子常光作画 東京・九段書房



巻頭随筆

地図の魅力、地図の力を子供たちに

金坂清則

特集 京都と地図

都としての京都の地図の歴史と近代

金坂清則・安藤哲郎・國友勇冨

京都の官版大判地形図群

井口悦男

対談・鳥の目になって京都を描く

黒澤達矢・水谷一彦

京町家の地図-「京町家まちづくり調査」現地調査・集計・地図化

飯塚隆藤

京都への修学旅行と効果的な地図の作成・活用 -事前の学習とも合わせて-

安藤哲郎

地図楽

読図のヒントXIV 東京の地図上の地名は古かった

清水靖夫

紙の地形図をじっくり眺めてみよう 第12回 宮城県石巻市へ行ってきました

伊藤 等

古地図を旅するIX 絵のような地図(五雲亭貞秀「京都一覽図画」)

三好唯義

文献紹介

海図の世界史-「海上の道」が歴史を変えた

矢延洋泰

歌がつむぐ日本の地図

伊藤 強

地図をつくった男たち

田代 博

紙碑

正井泰夫先生のご逝去を悼む

谷治正孝

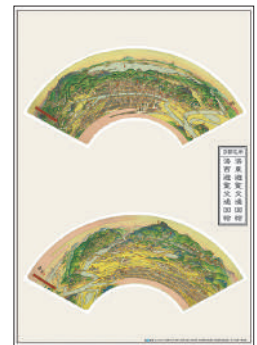
解説等

表紙・裏表紙・付録解説

藤本一美

付録

「京都名所 洛東遊覧交通図絵・洛西遊覧交通図絵」吉田初三郎作画



巻頭随筆

「郷土地理」と地図

中村和郎

特集 山陰・考(鳥取/島根)

中国山地の「たたら」出雲を中心として

新宮昭道

鳥取県の明治期における交通事情 ~県外への通路を求めて~

岩佐武彦

郷土の地図教育

小山富見男

まちの魅力を地図で表現する ~まつえ・まちづくり塾が作り出した松江の地図

井ノ上知子、白根博紀、金坂浩史、内藤裕道

大山の山並み七変化

藤本一美

隠岐を訪ねて

滝沢由美子

地図楽

読図のヒントXV 大戦末期の地表記録

清水靖夫

紙の地形図をじっくり眺めてみよう

第13回 その先の宮城県牡鹿郡女川町まで行きました

伊藤 等

古地図を旅するX 道中案内図の白眉(五雲亭貞秀東海道五十三駅勝景)

三好唯義

文献紹介

帝国書院地理シリーズ日本のすがた全9巻

松井秀郎

増補・明治期迅速測図の基礎的研究

鈴木純子

EXPO'70 日本万国博覧会公式ガイドマップ

久田龍二

巡検・見学会・セミナー

「江戸川橋界限」巡検に参加して

清水康厚

紙碑(寄稿)

正井泰夫先生をお偲びして

式 正英

斎藤 功

解説等

表紙・裏表紙解説

藤本一美

付録

「世界の地図情報2013(アジア・アフリカ編)」



巻頭随筆

富士山の総合地図展を

西川 治

特集 富士山と地図

富士山可視マップ

田代 博

富士道中日記に富士講を読むー富士講と人生儀礼を中心にしてー

西海賢二

富士塚ー転写された富士山の霊性ー

有坂蓉子

富士見十三州輿地全図と浮世絵の富士

森山悦乃

富士山頂お鉢の絵図と山名

藤本一美

地図楽

読図のヒントXVI 富士山の旧版地形図あれこれ

清水靖夫

紙の地形図をじっくり眺めてみよう

第14回 今度は気仙沼まで行ってきました

伊藤 等

古地図を旅するXI 地図皿の世界

三好唯義

文献紹介

東京凸凹地形案内2

大城直樹

完訳 日本輿地紀行 1~4巻

滝沢由美子

蘭学家老 鷹見泉石の来翰を読むー蘭学編ー

水谷一彦

解説等

表紙・裏表紙解説

藤本一美

付録解説

田代 博

付録

「日本の富士山 郷土富士カレンダー 2014」



巻頭随筆

脚で作った地図

村越 真

特集 脚力マップ

オリエンテーリングと地図

西村徳真

山登りと地図

中島辰哉

空間情報と健康環境情報を提供する自転車地図

古倉宗治

ー自転車利用促進に不可欠な二つの情報提供機能ー

ウォーキングと地図 ーウォーキングマップへの思いー

堀野正勝

地図楽

読図のヒントXVII ハイキング・旅行用の地形図

清水靖夫

紙の地形図をじっくり眺めてみよう

伊藤 等

第15回 第一号海図の故郷“釜石”へ行きました

三好唯義

古地図を旅するXII 16世紀の西洋製日本図

文献紹介

アホウドリと「帝国」日本の拡大

田代 博

Puntos del mundo 世界の点描

滝沢由美子

コラム

海図より見た東松島・野蒜海岸の急速な地形発達

八島邦夫

解説等

表紙・裏表紙解説

編集部

付録

「世界の地図情報2013(ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア編)」



巻頭随筆

食で辿る地図

岸 朝子

特集 食で辿る地図

大正月における晴の食文化と風土

市川健夫

伝統野菜にみる地域名と地図

草間壽子

地球温暖化と作物栽培適地の変化

林 陽生

駅弁は日本が誇る食文化

小林しのぶ

雑煮(正月料理)に見る地域性 - 高校生が描く我が家の雑煮

田代 博

地図案

読図のヒントXIII 地図購入のタイミング

清水靖夫

地図と私 - 地図への思い

井田浩三

城と地図 日本最大規模で実施された幻の城郭調査

- 明治政府陸軍省築造局城郭存廃絵図(陸軍省城絵図)

富原道晴

文献紹介

ちず+ずかん=ちずかん 地図で学ぶ日本の歴史人物

岩本廣美

納豆に砂糖を入れますか? ニッポン食文化の境界線

伊藤健介

紙碑

五百澤智也先生のご逝去を悼む

八木令子

巡検・見学会・セミナー

本邦近代民間地図発達史研究

- 製図地図界の巨匠と直伝技術者たち

辻野民雄・編集部

巡検 「成増・赤塚巡検」武蔵野台地から荒川低地へ

紅露和夫

解説等

表紙解説

大平原寛

付録

「食の文京ブランド100選 おいしゅうございまっぷ」(提供:文京区観光協会)



巻頭随筆

五百澤智也氏との出会い

佐藤 久

特集 山岳展望図・鳥瞰図の世界

ステレオ写真を使って山を描く - 五百澤智也氏の鳥瞰図の描き方と作品の主題 -

八木令子・吉村光敏

山岳画スケッチから学ぶ - 五百澤智也先生を偲んで -

藤本一美

ベラン教授を訪問して / 五百澤智也さんについて思い出すこと・思うこと

田代 博

デジタルで鳥瞰図を作成するという事 ~ 幅広い分野への展開について ~

杉山悠然

都市鳥瞰図の魅力にはまって

青山大介

地図案

読図のヒントXIX 初版と再版

清水靖夫

地図と私 - 線描に魅了されて

井口悦男

城と地図 古城絵図の作図者と城跡の見方について

富原道晴

文献紹介

地図で読む世界と日本

中村光貴

登山案内 統一等三角点全国ガイド

田代 博

信州学ダイジェスト 日本の屋根の風土学

滝沢由美子

巡検・見学会・セミナー

「伊豆韮山方面巡検」北伊豆歴史散歩

辻野民雄

解説等

表紙解説

吉村光敏

付録

「世界の地図情報2014/15」(アジア・アフリカ編)



巻頭随筆

分布図は興味深い

清水靖夫

特集 分布図を使いこなす

子どもの地図作品展を見て分布図について考える

中村和郎

小学校3年生社会科における学習初期の地図活用

フィールドワークと観察結果の分布図作りを中心に

分布図を利用した授業例 - 高等学校 -

中山正則

地図を活用して分布の基礎を学ぶ

田代 博

日本言語地図から再考する坂本龍馬の名言[コラム]

齋藤竜太

大平原寛

地図案

読図のヒントXX 演習場図から地形図へ

清水靖夫

地図と私 地図あればこそその旅の思い出-南ドイツ

式 正英

城と地図 屏風に描かれた城郭鳥瞰図-新発見 会津若松城下絵図屏風

富原道晴

文献紹介

地図と愉しむ東京歴史散歩・地形篇

根元裕樹

輯製二十万分一図 - 初版複製出力 -

齋藤忠光

埼玉「地理・地名・地図」の謎

青島朋子

解説等

表紙・裏表紙解説

滝沢由美子

付録

「世界の地図情報2014/15」(ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア編)



巻頭随筆

その時、その人の地球儀

千田 稔

特集 地球儀

地球儀と日本

三好唯義

地理教育にみる地球儀

大西宏治

- 教育現場で利用の立場から - 地球儀で世界と地球を学ぶ授業

太田 弘

地球儀編集、製作の現場から

樋口米蔵

お父さんと地球儀を買いに行きました[コラム]

伊藤 等

地図案

読図のヒントXXI 横文字の地形図

清水靖夫

地図と私 国立地図学博物館創立運動の今昔

西川 治

城と地図 大坂城絵図の種々相、特徴ある絵図群

富原道晴

文献紹介

ツイン・タイム・トラベル イザベラ・バードの旅の世界

安仁屋政武

地図と鉄道省文書で読む私鉄の歩み 関東1 東急・小田急

小田宏信

ぶら高田

堀川裕貴子

解説等

表紙・裏表紙解説

編集部

付録

箱型地球儀「地CUBE」



巻頭随筆

マッピングの進化の意味論－人とコンピュータとの協調型表現プロセス－ 有川正俊

特集 モバイルと地図

「デジタル地図帳」と高校地理－アプリの分類と活用の実際－ 伊藤智章  
 オープンストリートマップを持って外へ出よう！ 古橋大地  
 アウトドア活動へのモバイル活用 高島和宏  
 64歳からのスマホ事始め 田代博

コラム

「だいち」衛星画像を活用した世界最高5m解像度の全世界デジタル3D地図  
 －「見る3D地図」から「使える3D地図」へ－ 筒井健  
 平成26年度文化祭企画 モザイク画「防府市鳥瞰図」に取り組んで  
 山口県防府市立国府中学校一学年生徒達の展示発表を讃える 藤本一美

地図楽

読図のヒント X X II 地図の位置番号 清水靖夫  
 地図と私 地形図との出会い 中村六郎  
 城と地図 明治4年三春県絵図方測量 三春町と三春城 富原道晴  
 －算術教授佐久間纘 600余の野帳、測量絵図

文献紹介

イラストと地図からみつける！日本の産業・自然 全5巻 吉田和義  
 オン・ザ・マップ 地図と人類の物語 沼畑早苗  
 ビジュアル版 京都1000年地図帳 安藤哲郎

巡検・見学会・セミナー

「横浜市鶴見区を歩く」に参加して 今井健三

解説等

付録解説 藤本一美

付録

防府市鳥瞰図・防府景勝絵はがき



巻頭随筆

海洋と地図 寺島紘士

特集 日本の海と地図

「海図」－学校教育への利用拡大を目指して－ 今井健三  
 領海・排他的経済水域・大陸棚と海図 八島邦夫  
 日本周辺の海底を巡る 加藤茂  
 日本は海底資源大国になれるか？ 浦辺徹郎  
 カツオの回遊と海流・海底地形 二平章  
 コラム 国際海峡 長井俊夫

地図楽

読図のヒント X X III 海深が表されている地形図があった 清水靖夫  
 城と地図 河内千早城古絵図に見る城跡の姿 紙上千早城絵図展 富原道晴  
 地図と私 旧版地形図による条里地割復原の試み 立石友男

文献紹介

明治・大正・昭和 絵葉書地図コレクション 藤本一美  
 日本列島、水をとったら？海の底にも山がある！海底地形 清水靖夫  
 中国地図測量史 滝沢由美子

巡検・見学会・セミナー

武蔵境「水の道、鉄の道を尋ねて…」巡検記 根岸正光

お知らせ

防府市立国府中学校へ「特別顕彰(理事長賞)」贈呈

解説等

表紙解説 今井健三

付録

世界の地図情報 2015/16(アジア・アフリカ編)



道路地図の歴史 135号 Vol.35 No.3

巻頭随筆

律令制下の駅路と伝路－わが国最初の国道

立石友男

特集 道路地図の歴史

江戸時代の道中図

三好唯義

道路の変遷と路線バス事情

今尾恵介

道路地図の変遷(昭和30年代～現代)

木庭圓成

高速道路地図の変遷

中平龍二郎

カーナビ向け地図データ作成について

高橋宏樹

地図案

読図のヒント X X IV 旧版地形図にみる道路記号

清水靖夫

城と地図 謎の真田丸、丸馬出は創られた虚像か

富原道晴

大坂冬の陣絵図にみる百間四方の堅塁 真田丸

長野 覺

地図と私 「九州観光遊覧案内」地図に託した夢

文献紹介

銀座 歴史散歩地図 明治・大正・昭和

堀野正勝

昭和戦前期の伊勢参宮修学旅行と旅行文化の形成

岩瀬正司

ふらり珍地名の旅

宮本静子

二万五千分の一地形図が変わった 進化する地図の世界

伊藤 等

道路の日本史、日本の道路がわかる事典

お知らせ

2019年国際地図学会議東京大会誘致の経緯

森田 喬

解説等

表紙解説

編集部

裏表紙・付録解説

編集部

付録

日本海山潮陸図カレンダー



「地理総合」とは何か 136号 Vol.35 No.4

巻頭随筆

「地理総合」…生徒が“総合”していく…という構えを

次山信男

特集 「地理総合」とは何か

「地理総合」に向けて、「地理総合」への期待

滝沢由美子

「地理総合」への歩みとその内容構成、アクティブ・ラーニングとの関係

浅川俊夫

教員養成・市民育成からみた高校「地理」学習の必要性－地理総合への期待－

志村 喬

地理総合に向けて、地理総合への期待

－神戸大学附属中等教育学校における地理基礎の開発から－

高木 優

座談会「地理総合」への“期待”と“課題” 「教師・生徒」と「地理総合」の相互作用

滝沢由美子・揚村洋一郎・井田仁康・沼畑早苗・鈴木厚志・小宮正実

地図案

読図のヒント X X V 縮尺…ちぢめたものさし

清水靖夫

城と地図 時習義塾酒井如酔著、吉田晶三編輯、明治11年府県市街案内図全

－絵図地図に見る明治初期城郭遺構の変遷、大分城跡、前橋城跡－

富原道晴

地図と私 鉄道地図にみる位相図化、デザイン化

青木栄一

文献紹介

図解・表解 世界の地理

野口 剛

オーストリアの風景

白坂 蕃

1945・昭和20年 米軍に撮影された日本 空中写真に遺された戦争と空爆の証言

清水靖夫

巡検・見学会・セミナー

伊能忠敬ゆかりの佐原を訪ねて－伊能忠敬記念館の見学ほか－

細井将右

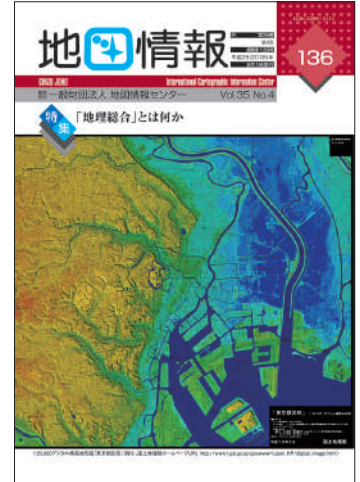
解説等

表紙解説

編集部

付録

世界の地図情報 2015/16(ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア編)



巻頭随筆

北海道の大縮尺地図

堀 淳一

特集「北海道」を俯瞰する

北海道の気候と農業

仁平尊明

碁盤の目の北海道

金森正郎

北海道の地名 - アイヌ語地名とその魅力

三好 勲

北海道を教える

大西宏治

コラム「地図に残る仕事」の意義と重さ

櫛引素夫

北海道の世界遺産・ジオパーク・国立公園、北海道のおもな廃線

編集部

地図案

読図のヒント X X VI 地図一覧図の×印

清水靖夫

地図と私 地図の重要性と効用性

中村静夫

吉田初三郎の弟子達の群像①

金子常光・中田富仙・柳城隆 おもに日本名所図絵社製の作品

藤本一美

文献紹介

帝国書院 地理シリーズ 別巻 日本と世界の領土

関谷文宏

地理3月増刊 地理×女子=新しいまちあるき

森本 泉

池上彰の世界の見方 15歳に語る現代世界の最前線

小松崎厚

解説等

表紙解説

小松崎厚

付録

蝦夷図全

増山聖子



巻頭随筆

山と付き合いながら歩んだ半生の体験

式 正英

特集「山」 四方山話

自然地理学と山の地形図

小疇 尚

山の駅名、山の市町村名

今尾恵介

都道府県最高峰の推移と名山

岡 雅行

山と宗教(前編)

長野 覺

祝・山の日(資料紹介) 秩父への誘い

藤本一美

地図案

読図のヒント X X VII 等高線…目に見えないから大切なんです

清水靖夫

地図と私 地図に開眼するまで

中村和郎

コラム

中国地図測量史

今村遼平

文献紹介

イラスト読図 地図読みは最強のリスク回避

卜部勝彦

地図で解明! 東京の鉄道発達史

小松崎厚

定本 山村を歩く

磯前睦子

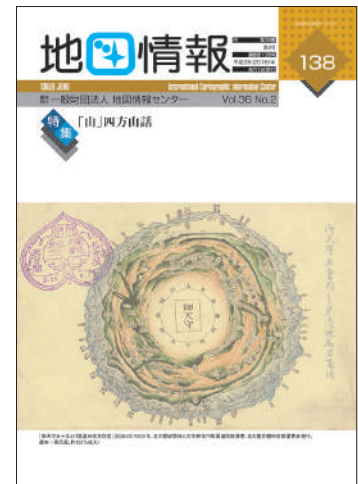
解説等

表紙・裏表紙解説

藤本一美

付録

世界の地図情報 2016/17(アジア・アフリカ編)





東京の市場

139号 Vol.36 No.3

巻頭随筆

都市の発達と市場の変遷

陣内秀信

特集 東京の市場(いちば)

江戸の舟運と河岸-魚河岸・日本橋から築地へ

菅原健二

築地界限-360年の変貌-

橋詰直道

地図と統計からみる東京都の卸売市場

池田真志

築地市場から豊洲市場へ

編集部

特集「山」四方山話

山と宗教(後編)

長野 覺

地図楽

読図のヒント X X VIII 地図上の商店街

清水靖夫

吉田初三郎の弟子達の群像②

前田虹映 おもに景勝宣伝社・景勝出版社の作品

藤本一美

文献紹介

地形で謎解き!「東海道本線」の秘密

原田康介

地図がわかれば社会がわかる

赤田雅則

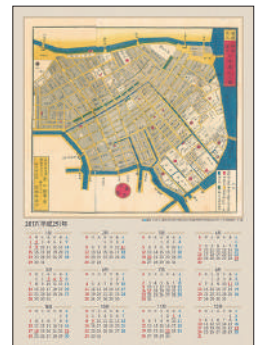
解説等

表紙・裏表紙解説

編集部

付録

増補改訂神田浜町日本橋北之図



大名庭園と地図

140号 Vol.36 No.4

巻頭随筆

大名のつくった“公園”

徳川斉正

特集 大名庭園と地図

江戸の大名庭園

芳賀 啓

水戸徳川家の庭園

徳川眞木

兼六園

長岡正利

岡山後楽園

万城あき

特別名勝栗林公園

日詰裕雄

玄宮園の地勢的特徴とその役割

三尾次郎

[参考図]主な大名屋敷と現在の屋敷由来公園等概略位置

編集部

地図楽

読図のヒント X X IX こんなに公園があったっけ 地図上に作られた公園 清水靖夫

夫

吉田初三郎の弟子達の群像③

吉田朝彦(朝太郎) おもに六曜社・吉田鳥瞰図作製社・吉田鳥瞰図画房の作品

藤本一美

世界地図紀行① 水の都ストックホルムで地球環境問題について考える 田部俊充

文献紹介

地図マニア 空想の旅

吉本 勇

地図趣味。

青木和子

巡検・見学会・セミナー

秩父巡検に参加して

紅露和夫

付録

世界の地図情報 2016/17(ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア編)



巻頭随筆

教材と地図

滝沢由美子

特集 教材と地図

主題図を中心とした地図帳の使い方  
教材としてのGIS  
フィールドワークで地図を使う  
「身のまわりの環境地図」を作る

寺本 潔  
秋本弘章  
中山正則  
谷内 達

地図楽

読図のヒント X X X 地図のなかみ 変化・進歩  
吉田初三郎の弟子達の群像④

清水靖夫

中村治郎(慈郎) 日本観光美術社・全国観光事業社他の作品  
世界地図紀行②

藤本一美

古都ウプサラでスウェーデンと日本とのつながりについて考える

田部俊充

巡検・見学会・セミナー

バス巡検記「水戸徳川家の歴史を訪ねて」

今井健三

文献紹介

世界の都市地図 500年史  
江戸・明治の古地図からみた町と村

水谷一彦  
齊藤忠光

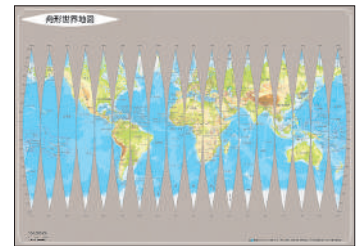
解説等

裏表紙解説

編集部

付録

舟形世界地図



巻頭随筆

名古屋の歴史にみる低地と台地の刻印

岡本耕平

特集 名古屋を知る

名古屋の地形  
名古屋の気候  
古地図で名古屋をみる  
地図でみる名古屋圏の経済

海津正倫  
平井史生  
溝口常俊  
近藤暁夫

地図楽

読図のヒント X X XI 都市の集成図「東京西部近郊」  
世界地図紀行③ イギリス・リヴァプール  
海商都市リヴァプールの「光と陰」:世界遺産とビートルズを考える  
地図と私 地図の製作にかかわって

清水靖夫  
田部俊充  
堀江 元

文献紹介

シーボルトが日本で集めた地図  
わかる! 取り組む! 災害と防災 全5巻  
地図学の聖地を訪ねて

増山聖子  
岡本 利  
竹澤史也

付録

吉田初三郎画 「名古屋市鳥瞰図」など再発見



## 巻頭随筆

伊能忠敬との学縁に恵まれて

西川 治

## 特集 伊能忠敬が遺したもの—没後200年

伊能図の後裔

清水靖夫

地図投影法からみる伊能図

菱山剛秀

「山島方位記」による伊能図の解析

辻本元博

伊能忠敬と間宮林蔵の蝦夷地測量

高木崇世芝

修身の教科書にも載った伊能忠敬

田代 博

[特別寄稿]開山1300年を迎えた白山

長岡正利

[特集コラム]大日本沿海輿地全図の基礎

編集部

## 地図楽

吉田初三郎の弟子達の群像⑤ 城下豊栄(榮)

藤本一美

世界地図紀行④ 移民の歴史とニューヨーク

世界文化遺産「自由の女神」とエリス島移民博物館

田部俊充

地図と私

大竹一彦

## 文献紹介

「接続性」の地政学 上・下

大山洋一

Isabella Bird and Japan : A Reassessment

安仁屋政武

## 付録

複製本:幸田露伴 著 富岡永洗 画少年読本第13編 伊能忠敬

許諾・協力©博文館新社

しおり:江戸時代の測量「地方測量之図」より



## 図法入門

## 144号 Vol.37 No.4

## 巻頭随筆

地球を描く図法

加賀美雅弘

## 特集 図法入門

これでわかる地図投影法の基本

田代 博

学校地理教育で活用する各種の図法と地図

吉田和義

メルカトル図法とは

佐藤崇徳

イギリス初等教育での世界地図と図法の扱い

志村 喬

誰でも簡単に使える地図アプリ、YouTube

山尾 望

[参考]さまざまな図法

編集部

## 地図楽

読図のヒント X X VII 地形図に応急的な修正があった

清水靖夫

吉田初三郎の弟子達の群像⑥ 稲垣満一郎

藤本一美

地図と私 一を識って二を知らず

森 三紀

## 文献紹介

鎖国の地球儀 江戸の〈世界〉ものしり帖

高橋珠州彦

小学校の社会 友だちに話したくなる 地図のヒミツ

柚原 章

百年前の地図帳・教科書から読み解く 大正時代の日本

水谷一彦

改訂版 江戸之下町復元図

編集部

わが国の近代地図作成の始まり

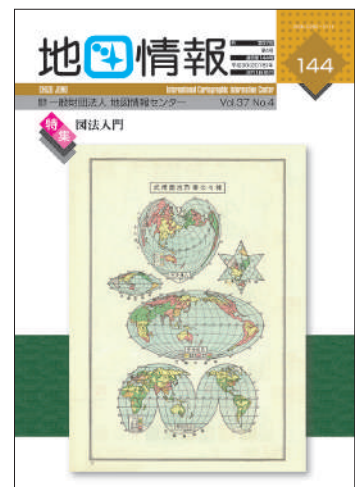
編集部

## 解説等

表紙・裏表紙解説

田代 博

付録 世界の地図情報2017/18



**川がつくった日本の地形** 145号 2018 (平成30) 年度 Vol.38 No.1

**巻頭随筆**

等高線の意味が小学4年で分かった理由 鈴木隆介

**特集 川がつくった日本の地形**

川の地形と作用－源流から河口まで－ 島津 弘  
 「沢登り」で見る河川上流部の地形 戸田真夏  
 扇状地と天井川 熊木洋太  
 自然堤防から三角州に至るまで 海津正倫

**地図案**

読図のヒントXXXIII 色刷りの地図へ 清水靖夫  
 吉田初三郎の弟子達の群像⑦ 寺本左近 藤本一美  
 世界地図紀行⑤ 国際政治の中心:ワシントンD.C.で平和を考える 田部俊充  
 地図と私 明治初期フランス地図測量技術導入とその後について 細井将右

**文献紹介**

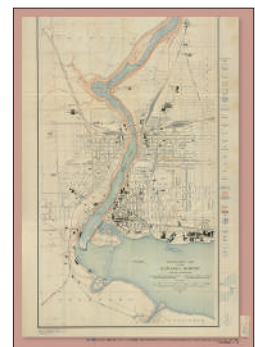
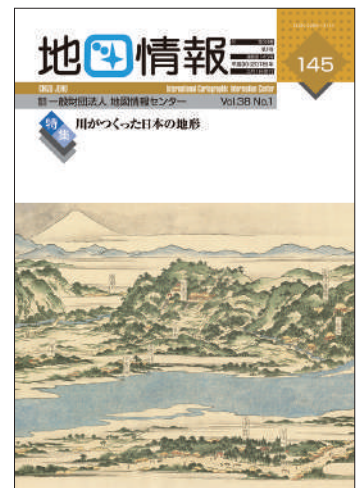
読みたくなる「地図」東日本編・西日本編 五十嵐和也  
 地図作成に見る世界最先端の技術史 鈴木純子

**解説等**

表紙・裏表紙解説 西川 治

**付録**

TOPOGRAPHIC MAP OF THE NIAGARA GORGE



**鹿児島を知る** 146号 Vol.38 No.2

**巻頭随筆**

鹿児島島の自然風景 森脇 広

**特集 鹿児島を知る**

桜島の火山地形と植生 吉田明弘  
 鹿児島島の水文環境 永迫俊郎  
 薩摩藩の外城制度と麓集落 矢野正浩  
 シラス台地の土地利用－笠野原台地の農業開発 深瀬浩三  
 薩摩のなかの「異国」－演出された「琉球館」－ 佐藤宏之

**地図案**

読図のヒントXXXIV 姿を消した地形図類 清水靖夫  
 吉田初三郎の弟子達の群像⑧ 同時代を生きたその他の絵師達 藤本一美  
 世界地図紀行⑥ アメリカ地理教育史誕生の舞台 田部俊充  
 ボストン・フリーダムトレイルとピースツーリズム 金窪敏知  
 地図と私

**巡検・見学会・セミナー**

柴又界限巡検 清水康厚

**文献紹介**

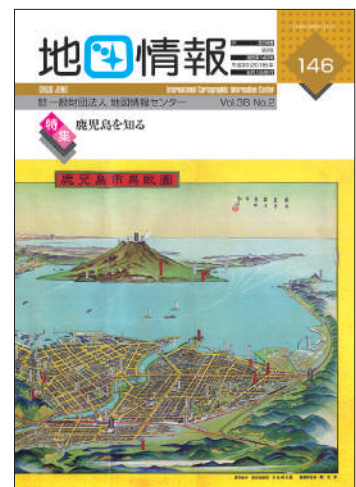
地図の進化論 地理空間情報と人間の未来 中村光貴  
 旅に出たくなる地図 関西 高田和則

**解説等**

表紙・裏表紙解説 藤本一美  
 付録解説 清水靖夫

**付録**

「鹿児島」明治22年輯製20万分1地形図



近代地図事始め

147号 Vol.38 No.3

巻頭随筆

古地図

清水靖夫

特集 近代地図事始め

近代地図の目覚めの頃

清水靖夫

黎明期の近代地図－洋学の遺産と新展開－

鈴木純子

陸地測量部前史－フランス式からドイツ式へ－

星埜由尚

五千分一東京図－明治前期の公的機関で作られた最高峰の地図

長岡正利

近代的海図を作り上げた明治初期の製図者たち－その素養と海図作品－

今井健三

特別寄稿

魏志倭人伝の記事で地図を作る

野上道男

地図案

世界地図紀行⑦ 欧州連合(EU)と中欧

－ハプスブルク帝国の夢の舞台 ウィーンとプラハ－

田部俊充

文献紹介

近代測量史への旅 ゲーテ時代の自然景観図から明治日本の三角測量まで

政春尋志

絵図と徳川社会 岡山藩池田家文庫をよむ

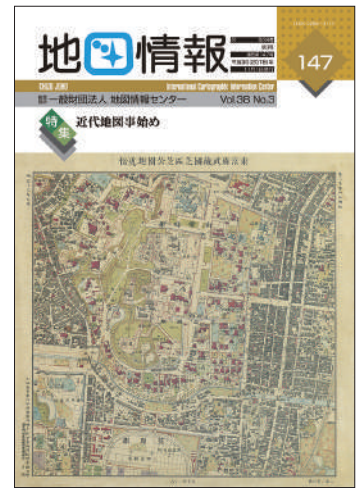
増山聖子

今こそ学ぼう 地理の基本

中村光貴

付録

「相模武蔵二州圖」



地図で見るアフリカ

148号 Vol.38 No.4

巻頭随筆

大地に刻印された環境史と人類史の間を考える

～アフリカ研究半世紀に思う～

堀 信行

特集 地図で見るアフリカ

アフリカの地形

山縣耕太郎

アフリカの気候と植生

水野一晴

古地図が語るアフリカ史

石川博樹

アフリカの民族文化の多様性－民族・言語・宗教に注目して－

池谷和信

アフリカの資源と経済活動－将来性ある巨大市場の光と陰

大山修一

アフリカの国境線について

田代 博

地図案

読図のヒント X X X V 袖珍本地図帳

清水靖夫

世界地図紀行⑧ 「世界の金融センター」香港と

「紅いシリコンバレー」深圳

田部俊充

巡検・見学会・セミナー

「文京区界隈徒歩巡検」に参加して

紅露和夫

文献紹介

208の国と地域がわかる国際理解地図 DOOR ドア ③アフリカ

石井洋子

解説等

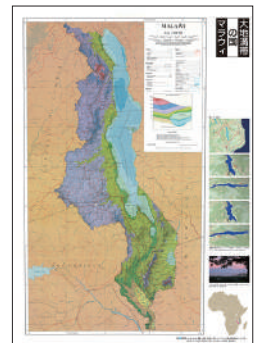
付録解説

山縣耕太郎

付録

大地溝帯の国マラウイ

世界の地図情報 2018/19



巻頭随筆

地図でわかる、自然災害を受けやすい土地、受けにくい土地 熊木洋太

特集 地図で学ぶ防災

ハザードマップはどうやってつくられるか 芳賀 啓  
 “逃げ地図づくり”を通した災害リスクの認識 山本俊哉  
 中学校社会科地理的分野の授業におけるハザードマップの利用と実践 東野茂樹  
 ハザードマップの点検・評価の試み 田代 博  
 国土交通省「ハザードマップポータルサイト」について 田代 博

地図楽

読図のヒントXXXVI ひらがなから漢字へ(駅名表示と地名と) 清水靖夫  
 私の巡検旅日記① -古い町並みを訪ねて- 星埜由尚  
 地図と私 地図編集者のあしあと 齊藤忠光

文献紹介

社会科教育と災害・防災教育 東日本大震災に社会科はどう向き合うか 沼畑早苗  
 基礎からわかる 地図の大百科 全4巻 内川 健  
 新潟放送 ラジオ朗読番組「イザベラ・バードが見た明治の新潟」CD紹介

解説等

付録解説 滝沢由美子

付録

木曾川流域濃尾平野水害地形分類図(1956年、5万分1)



巻頭随筆

深田久弥さん、没後48年の今年 横山厚夫

特集 百名山と地図

自然学の立場からみた百名山 小泉武栄  
 アナログ作業で百名山にトライ！ 等高線マーキングでオリジナルマップを 樋口一郎  
 日本百名山の地図に関わる記述の検証 田代 博  
 山をまるごと味わう にっぽん食名山 四角友里  
 百山考・百名山考 藤本一美  
 [地図]深田久弥「日本百名山」 編集部

地図楽

読図のヒントXXXVII 駅名から地名へ 清水靖夫  
 私の巡検旅日記② 宗教と古地図を巡る 星埜由尚

巡検・見学会・セミナー

宿場と水運の街からエスニック街道をゆく 小島岳彦

文献紹介

新潟放送 ラジオ朗読番組「イザベラ・バードが見た明治の新潟」 滝沢由美子  
 日本200年地図 鈴木純子  
 Discovery ATLAS of JAPAN 井上明日香

付録

日本300名山地図と日本百名山中の郷土富士



スマホと地図

151号 Vol.39 No.3

巻頭随筆

地図情報と空間認識

石川 徹

特集 スマホと地図

スマホで地図と向き合う社会を生きる  
古地図アプリの先駆け東京時層地図  
スマホと地図の最新事情と今後の展望  
「スマホネイティブ」世代の考えるスマホと地図

卜部勝彦  
竹村和広  
片岡義明  
田代 博

地図楽

読図のヒント X X X VIII 東京西部近郊図  
私の巡検旅日記③ プリトヴィツェと九寨溝・黄龍

清水靖夫  
星埜由尚

文献紹介

スマホとPCで見る はじめてのGIS  
「地図感覚」から都市を読み解く  
鎖国時代 海を渡った日本図  
地図帳の深読み

矢野桂司  
林 靖子  
鈴木純子  
金田啓珠

付録

江戸切絵図 増補改正「千駄ヶ谷鯨ヶ橋四ッ谷繪圖」



フィールドワーク

152号 Vol.39 No.4

巻頭随筆

フィールドワークの醍醐味

岩本廣美

特集 フィールドワーク

小学生の地域学習とフィールドワーク  
「地図歩き」のすすめ  
「大人フィールドワーク」のススメ  
フィンランドの教育とフィールドワーク  
Fieldwork in Japanに携わって

大西宏治  
栗山絵理  
高橋珠州彦  
湯田ミノリ  
池下 誠

地図楽

読図のヒント X X X IX 地形図上の番地  
地図と私 フェイクな新聞記事とフェイクな古地図  
私の巡検旅日記④ 世界遺産と測量・地図

清水靖夫  
山下和正  
星埜由尚

巡検・見学会・セミナー

国立歴史民俗博物館と城下町佐倉

紅露和夫

紙碑

西川治先生のご逝去を悼む

滝沢由美子

文献紹介

地理授業づくり入門  
禹王と治水の地域史  
新しい地理の授業  
無料配布の地図

大谷誠一  
井田浩三  
三堀潔貴  
編集部

付録

世界の地図情報 2019/20



巻頭随筆

神戸と地図

三好唯義

特集 地図と地理で知る神戸

神戸の自然と開発

南埜 猛

絵図にみる開港前夜の兵庫と神戸

高久智広

「神戸外国人居留地計画図」について

水嶋彩乃

神戸の鉄道交通

吉水裕也

明治14年兵庫神戸実測図からみた神戸山手の様相

小野田一幸

博物館資料を用いた授業と地域

永山未沙希

[コラム]神戸市立博物館のリニューアル

小野田一幸

地図楽

読図のヒント XL神戸の地図を編集した頃

清水靖夫

地図と私 「地図」観の図をつくる フィールドワークと思想をかけ繋ぐ

堀 信行

私の巡検旅日記⑤ 奄美の島巡り

星埜由尚

文献紹介

図説 京阪神の地理

高木 優

兵庫のトリセツ

堀 英雄

付録

昭和5年 吉田初三郎が描いた神戸の鳥瞰図



巻頭随筆

色と地図

森田 喬

特集 色彩と地図

地図の色彩

森田 喬

「国土地理院の地図」の色彩の歴史

清水靖夫

「海図」における色彩の意味について

上田秀敏

地図帳の色彩-より見やすく、美しい表現をめざして-

小松崎厚

地図と4色の色

村野京一

ユニバーサルデザインと地図帳

丹治達義

色つきの地名

田代 博

地図楽

地図と私 地図と地名事典で知ったわが町

齋藤文雄

私の巡検旅日記⑥ 北のさいはて

星埜由尚

文献紹介

Unbeaten Tracks in Japan : Revisiting Isabella Bird

安仁屋政武

地図とデータでみる 都道府県と市町村の成り立ち

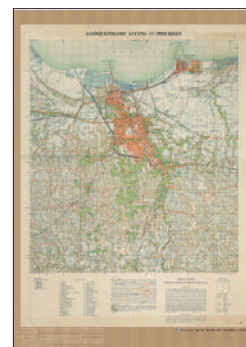
矢延洋泰

旧国名でみる日本地図帳 お国アトラス

増山聖子

付録

GARNIZOENSKAART BATAVIA EN OMSTREKEN





巻頭随筆

デジタル時代と地図コレクション

鈴木純子

特集 地図と博物館・図書館

国立国会図書館の地図

中能 淳・伊藤直美

天理図書館所蔵西洋古版地図の整理と利用ならびに保存

三濱靖和

広島県立歴史博物館「守屋壽コレクション」について

久下 実

国立歴史民俗博物館の地図

青山宏夫

神奈川県立歴史博物館の地図資料

武田周一郎

資料 古地図・絵図を所蔵する図書館・博物館・文書館

編集部

地図楽

読図のヒントXL I 地図には、目に見えないものも描いてある

清水靖夫

地図と私 地図と言語

田邊 裕

私の巡検旅日記⑦ 国境の島々

星埜由尚

文献紹介

日本の海と暮らしを支える 海の地図

山田智之

まっふるキッズ 世界の国ぐに大図鑑

中山正則

付録

世界の舞台・ティセラ日本図



巻頭随筆

バランスのとれた地歴教育の実現へ

滝沢由美子

特集 2022年「地理総合」スタート

「地理総合」総論

井田仁康

生徒の視野を広げるツールとしてのSDGsの活用

中村光貴

地図・地理情報システム(GIS)と現代社会

秋本弘章

地理総合における多文化国際理解の実践

谷口博香

地図を活用した「自然環境と防災」の授業づくり

松本穂高

地図楽

読図のヒントXL II 地図の上は北か

清水靖夫

地図と私

樋口米蔵

私の巡検旅日記⑧ 遺跡を歩く

星埜由尚

文献紹介

新・世界の国々 全10巻

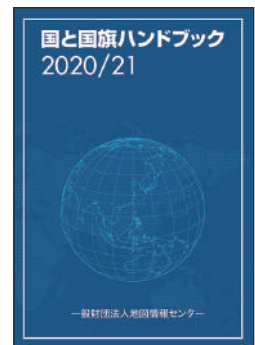
阪上弘彬

近代河川舟運のGIS分析

増山聖子

付録

国と国旗ハンドブック2020/21



巻頭随筆

長崎開港450周年

田上富久

特集 長崎開港450年

長崎港をとりまく自然条件と近代科学窓口としての役割

財城真寿美

観光都市長崎の原点ーキリスト教と長崎

才津祐美子

国際貿易都市長崎の成立と特質

木村直樹

原爆と地図

山口 響

長崎の都市開発の進展と将来像

菊森淳文

長崎歴史文化博物館

矢田純子

地図案

読図のヒントXLIII こんな記号があった。

清水靖夫

伊能忠敬の事績あれこれ① 蝦夷地測量をめぐって

鈴木純子

地図と私 海の地図に導かれて

今井健三

文献紹介

教養の近代測地学

星埜由尚

新版 古地図で読み解く 江戸東京地形の謎

八木令子

地図で読む 松本清張

加島 巧

地理統計ー国旗解説・国別資料付きー

栗山絵理

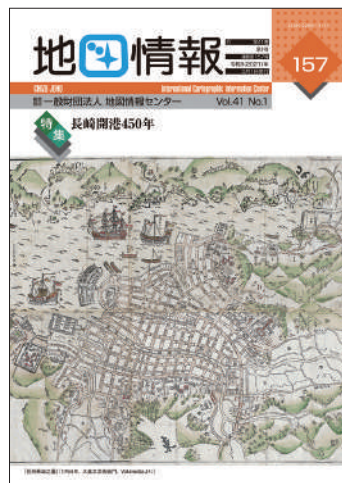
紙碑

田代博先生を偲んで

水谷一彦

付録

「景勝の長寿」吉田初三郎



巻頭随筆

北前船の宇宙

野間晴雄

特集 北前船の港町

北海道江差ー北前船の終着地

米家志乃布

近世港町酒田の風景

清野 誠

日本遺産 福浦港を中心として

松田睦夫

「北前外海」で各地と繋がった浜田

阿部志朗

綿の出荷で賑わった玉島港・下津井港

藤原憲芳

大阪・泉佐野ー北前船の出帆地

野間晴雄

地図案

読図のヒントXLIV 地図上の白地

清水靖夫

伊能忠敬の事績あれこれ② 伊能測量の組み立てー紀伊半島東岸を例にー

鈴木純子

文献紹介

国絵図読解事典

芳賀 啓

1964年と2000年 くらべて楽しむ地図帳

平澤 香

紙碑

井口悦男先生を偲んで

今井健三

付録

「NUEWE TAFEL VOOR ALLE LIEF-HEBBERS en Zeevaarrende Persoonenvertoonende een OORLOGHS-SCHIP」



利根川と生きる

159号 Vol.41 No.3

巻頭随筆

利根川改変考

橋本直子

特集 利根川と生きる

利根川東遷を整理するー赤堀川切広之図にみえるものー

増山聖子

利根川の舟運ー江戸期と明治以降ー

飯塚公藤

埼玉県東部の水と生活

板垣時夫

利根川の近代治水と東日本台風

三橋さゆり

[column] 長柄様と鉍毒事件

小島岳彦

特別寄稿

19世紀「獨逸陸地測量部」と小菅智淵

細井將右

地図案

読図のヒントXLV 円形の道路網

清水靖夫

地図と私 大陸分水界をまたぐ滑走路

小疇 尚

伊能忠敬の事績あれこれ③ 伊能図と風景

鈴木純子

文献紹介

近世蝦夷地の地域情報

小野有五

地理マニアが教える 旅とまち歩きの楽しみ方

原 光一

地図で考える中世

岩鼻通明

付録

自然災害伝承碑案内図



地図で読み解くSDGs

160号 Vol.41 No.4

巻頭随筆

SDGsと地図

水見山幸夫

特集 地図で読み解くSDGs

地図・グラフからみるジェンダー不平等

吉田容子

SDGs推進としての環境地図教育研究会の取り組み

金 玆辰

SDG指標12.3.1(b) Food Waste Indexの地図化

渡辺浩平

SDGsと防災と地図

熊木洋太

地図案

地図と私 300万分の1地図を与えられた黄河源流探検

小泉武栄

読図のヒントXLVI 地図一覧表を眺めて

清水靖夫

伊能忠敬の事績あれこれ④ 「沿海」地図と海岸測量

鈴木純子

文献紹介

鉄道と地図 時刻表と地形図が描いた鉄道の歩み

小松崎厚

地図帳の深読み 100年の変遷

小島岳彦

地球があぶない！ 地図で見る気候変動の図鑑

栗山絵理

地図の事典

清水康厚

幕末明治大地図帳

磯前睦子

付録

国と国旗のハンドブック2021/22 サステイナブルな世界をめざして



巻頭随筆

札幌のトポス 小野有五

特集 地図で描く「札幌」

新旧地形図の比較で読み解く札幌市の百年 金森正郎

札幌一極集中の現在 何が「集中」しているのか? 小野塚仁海

新幹線延伸をにらんだ札幌都心部の「要塞化」と道内交通網の「ガラパゴス化」 武田泉

雪国札幌ならではの暮らし 森 順子

地図案

地図と私 アメリカ合衆国ジョージア州の円形の自治体境界 菅野峰明

読図のヒントXLVII 地図上の番地 清水靖夫

伊能忠敬の事績あれこれ⑤ 幕末期の伊能図 鈴木純子

特別寄稿

自然の地図帳 やんばる国立公園のアトラスをつくる 増澤 直

文献紹介

東京の教科書 大人のための地元再発見シリーズ 齊藤忠光

中国「国恥地図」の謎を解く 清水康厚

おとなの書きこみ白地図帳 奥村玲子

付録

やんばる国立公園の地生態学図



鉄道路線図

巻頭随筆

ハリー・ベックからスマホへの長い路 今尾恵介

特集 鉄道路線図

新旧の鉄道路線図 今尾恵介

地図からみる鉄道路線 東京と大阪の変遷比較 古澤純一

地図でみる鉄道網の変遷 福田行高

路線名と駅(停留場)名 小松崎利男・小松崎厚

地図案

地図と私 地図の力 膨大な写真を束ね、内容を構造化した地図群 金坂清則

読図のヒントXLVIII 旧邦領の地図から 清水靖夫

伊能忠敬の事績あれこれ⑥ 総仕上げに向かって 鈴木純子

文献紹介

〈稿本・大名家本〉伊能図研究図録 芳賀 啓

津波詳細地図にみる 東日本大震災の10年 東野茂樹

境界の政治地理学 境界は動くのか 米家志乃布

付録

最新日本全国鐵道圖 東京日日新聞社



## 巻頭随筆

瀬戸内海の小さい島の軌跡

稲田道彦

## 特集 瀬戸内海

海図に映し出された瀬戸内海の諸相

今井健三

瀬戸内海の地形・気候・風土

古田 昇

瀬戸内海の交通史－室町時代から現代へ－

飯塚公藤

瀬戸内海、屋代島(周防大島町)の砂浜と海ごみ

田中貞徳

## 地図案

伊能忠敬の事績あれこれ⑦ 成長の軌跡

鈴木純子

地図と私 地図というものの不思議さ

森田 喬

鉄道古地図めぐり① 大正16年の全国鉄道地図

今尾恵介

読図のヒントXLIX 第二次世界大戦後の地図

清水靖夫

## 文献紹介

測量・地図百五十年史

若林芳樹

地図帳の深読み 鉄道編

小島岳彦

地理トレ 地図クイズ大全

森 順子

## 紙碑

中村和郎先生を偲んで

水谷一彦

## 付録

世界之公園瀬戸内海遊覧地図



## 巻頭随筆

地図を広げて

卜部勝彦

## 特集 地図へのトータルアプローチ

万能な図法はない—地図投影法の適切な使い分け—

佐藤崇徳

記号変換による地図の表象変化

森田 喬

東京の東はニューヨーク?—誤解されがちな「方位」と「縮尺」—

伊藤智章

常識にとらわれない地図づくり

高橋宏樹

## 地図案

地図と私

千田 稔

伊能忠敬の事績あれこれ⑧ 近代への過程で

鈴木純子

鉄道古地図めぐり② 京王電車沿線案内

今尾恵介

読図のヒントL 地図一覧図をもう一度眺めてみたい

清水靖夫

## 文献紹介

日本を旅する 大旅行地図帳 歴史編

堀川裕貴子

地図で読み解く 関西のことば

小野田一幸

## 付録

一般財団法人地図情報センター 10周年(財団法人設立41周年)のあゆみ



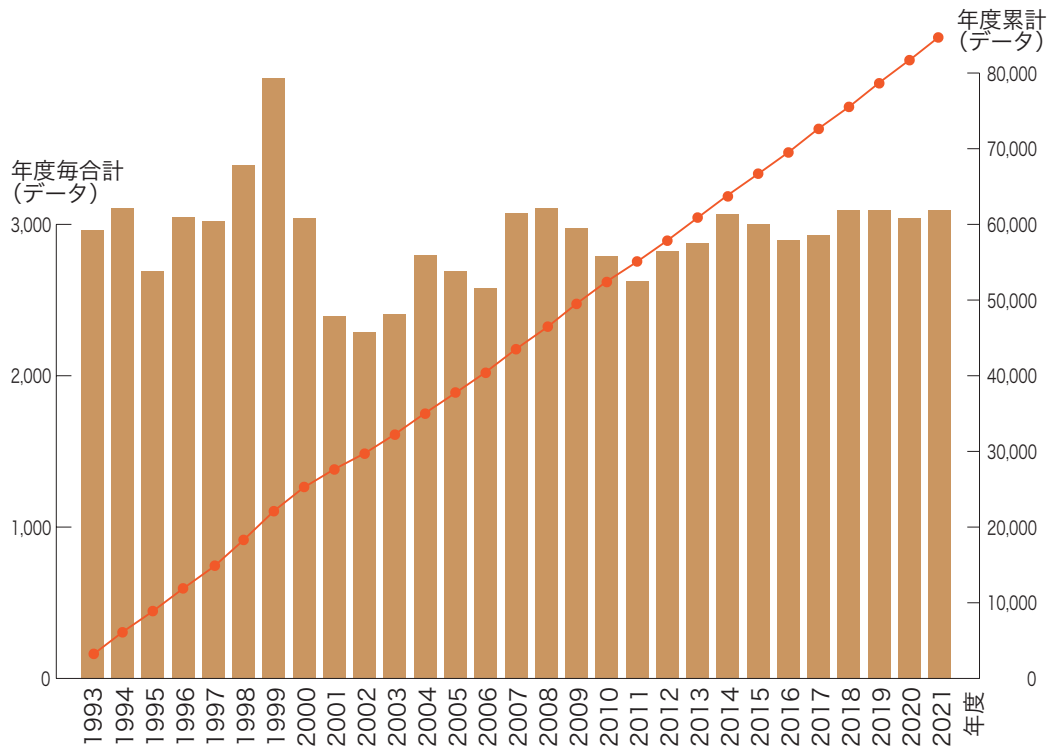
# 地域情報ニュース

地域情報ニュースは任意団体時代に発行していた「地図情報」が端緒である。当時、地域変更情報をグレー印刷した地形図の上に、朱刷りの2色印刷と、現「地図情報」の資料室（文字情報）を併せた合本であったが、測量法上、当団体では地形図を利用した変更情報を発行できず、財団法人化した際に「地図情報」の内容を改め、財団の機関誌として再出発した。

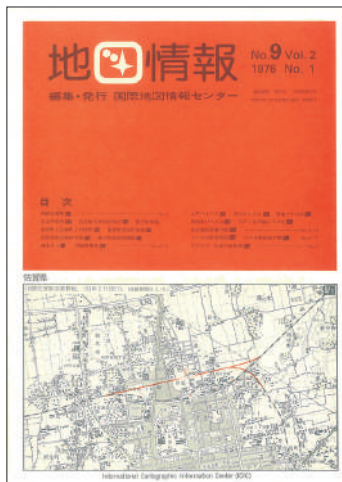
その後、地域変更情報は「地域情報ニュース」として地図制作会社向けの文字情報となり、ワードプロセッサによる切り貼りで作成していた。1993年度、当時

主流だったNEC PC9801の「The CARD」で、1996年度よりApple Machintoshの「FileMaker」データベース上で作成している。プリントのほか、テキストデータをフロッピーディスクで提供、2004年度からはCD-ROM化し現在に至る。

地図制作に係る様々な情報をテキスト化し、月間200件以上のデータを提供しているが、カーナビやGoogleマップに代表されるWeb地図サービスなどが普及しつつある中、地図制作会社や地図会社が減少し、購読社数は漸減の傾向にある。



「地域情報ニュース」データ数の推移



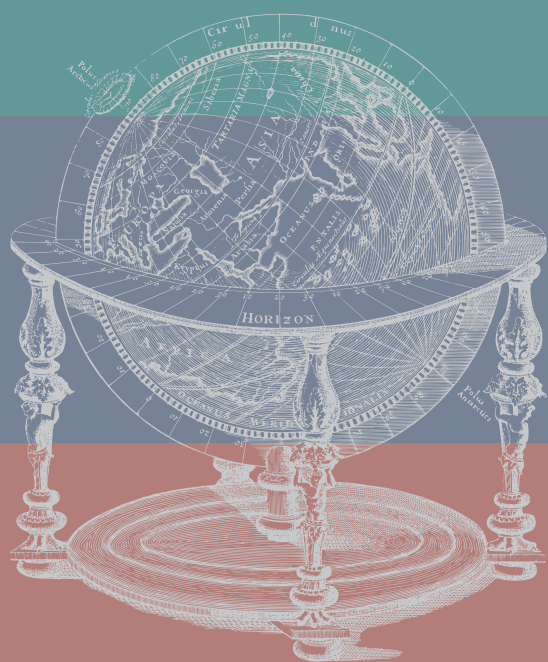
左より任意団体時代の「地図情報」。21号まで発行された。現「地域情報ニュース」とCD-ROM。月刊で発行されている。

# A NEW AND ACCVRAT MAP OF THE WORL



一般財団法人 地図情報センター  
10周年(財団法人設立41周年)のあゆみ

2023年2月1日改訂版発行  
〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町2-5  
<https://chizujoho.jp/index.html>



一般財団法人  
地図情報センター  
〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町2-5  
神保町センタービル5階